

年頭所感



日本私立小学校連合会

〒102-0073

東京都千代田区九段北4-2-25

私学会館別館6階

電話 03(3261)2934

年頭所感

新たな十年百年を目指して

日本私立小学校連合会会長
前東京都立大学付属小学校校長
現東京都立大学グループ学校法人五島育英会評議員

重永睦夫

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。日本私立小学校連合会は昨年十二月二日に「結成八十周年記念式典」を開きました。末松信介文部科学大臣にご来臨願い、私学界重鎮の皆様が勢ぞろいして下さりました。華麗な来賓のもと、日私小連歴代役員、教育功労による文部科学大臣表彰と永年勤続の会長表彰の皆様、そして日夜私学経営にご尽力の理事長・校長はじめ学校幹部の皆様にご参加いただきました。コロナ禍が完全収束に至らない中、規模縮小で実施しましたが、それでもアルカディア市ヶ谷の広い富士の間が埋まって見える盛会となりました。このような大きな会が予定通り一時間きっかりで運営され内容も好評を博したのは、実行委員会と事務局の緻密な計画と準備のお蔭です。あらためて感謝申し上げます。

十年に一度必ず行い私学振興をアピールしよう」とのご提唱によるものでした。そこに末松大臣がご出席くださったわけですが、何え山本学園長は末松大臣と旧知で、昵懇ということでした。「末松大臣誕生」を山本先生が予知されて八十周年を実施すべしと提唱されたかのように感じ入ったところです。九十周年でも秘話誕生を祈ります。また丁度百年前に誕生した「全人教育」にも触れました。中教審でも使われる「全人教育」という言葉ですが、これは私立小学校の先達による発明です。大正十年の八大教育主張講演会において玉川学園創立者小原國芳先生が提唱された教育観であることを決して忘れてはなりません。私立小学校が近代教育を牽引してきた証です。

「二年樹穀十年樹木百年樹人」を胸に今年も「私学はひとつ、教育は私学から」の合言葉を大切にしてまいりましょう。

年頭所感 教育の原点

日本私立小学校連合会副会長
青山学院初等部部长

中村 貞雄

三省堂の国語辞典が八年ぶりに改訂され、千七百もの言葉が消えるということです。その一方で三千五百もの新しい言葉が入るそうです。文化庁が二〇二〇年度の国語に関する世論調査の結果を公表しました。新型コロナウイルス感染拡大により、例年以上に多くの新しい言葉が日常生活で交わされるようになったということです。また、この世論調査では新しい表現についても調べていて「とても」の意味で「めっちゃ」を使うことがある人の割合が約六割に上り、他人が使うのは気にならないと答えたのは八割だったそうです。

新しい言葉と言えば「親ガチャ」という言葉を私は初めて聞きました。この「親ガチャ」とは、親の経済力や教育環境などは「運」によって決まり、自分の将来もそれに左右される、そのような状況を指しているとのこと。どんな物が手に入るかは「運」しだい。恵まれない家庭に生まれた場合、「親ガチャに失敗した」などと使うそうです。もちろん、子どもにとって親を選ぶことはできませんが、あまりにもノリの軽い言葉です。専門家は、社会の格差が明確になった表れだと言っています。しかし、自分の不遇を親のせいにして努力を怠っている、つまり究極の言い訳のように聞こえます。

日本私立小学校連合会は、結成八十年を迎えました。言葉は時代を映しだしますが、横文字を含めて毎年多くの言葉や造語が生まれる中で、言葉に左右されることなく「建学の精神」を大切にし、子ども一人ひとりに「愛」を持って接する。八十年という節目にあたり、今まで以上に教育の原点を大切にしなければならぬ時代になったと思っています。本年もどうぞよろしく願います。

年頭所感 いまだから 私学が力を発揮

日本私立小学校連合会副会長
桐光学園小学校校長

斎藤 滋

新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行は、様々な面で人々の日常を大きく変えることになりました。学校も同様で、この二年間に、教育活動の面で継続できることと、見直す必要性を感じたことがそれぞれありました。変化の一番にICT機器を使った教育をあげる人は多いと思いますが、私は必ずしもそうではないと考えています。ICT機器を使った教育は新型コロナウイルス感染症が仮になかったとしても、学校現場にはいずれ取り入れることになったことでしようし、すでに導入が進んでいた学校も多かったです。私は、この機会により一層一人ひとりの子どもに寄り添った教育活動の大切さを改めて知ることができたことが一番の収穫だったと考えます。ICT機器を使った教育の目的の一つに、「学習状況に応じた個別学習が可能に」ということがあったと思いますが、

そこでは全て機器に任せるのではなく、これまで以上に教員自身が子どもの状況を細かく把握する必要があるでしょう。

学校での多くの取り組みが「これまでと同じ」では、子どもも保護者も満足できるものではないでしょう。私学は教員のやる気次第でどんどん変わっていくことができます。また、それだけの力を持っている人たちの集合体です。学校単位でできること、私学が連携してできること、これからの挑戦の日々を楽しもうではありませんか。

私たちはこれからも、先生方と共に学ぶ機会と、保護者も巻き込んだ学びの機会をも作りたいと考えています。コロナ禍で私たちの日常に加わったオンラインでの交流・学びのメリツトを生かすべきではないでしょうか。

最後に、今年の日私小連全国夏季研修会は関東地区で担当させていただきます。皆様と一緒に対面方式での研修会を再開できることを願っております。本年もよろしく願います。

年頭所感

おはようございます

日本私立小学校連合会副会長
城南学園小学校校長

山北 浩之

新春のお慶びを申し上げます。

「おはようございます。」

毎朝、私の耳に、明るく元気な子どもたちの声が、心地よく響きます。

私は、「おはようございます」というあいさつには、三つの働きがあると思っています。

一つに、「おはようございます」は、『私はここにいますよ。こんなに元気ですよ。』ということを相手に主張することだと思っています。

次に、「おはようございます」は、『あなたはどうか。元気ですか。』と尋ねかけ、相手の存在を認め、確認することだと思っています。

さらに、「おはようございます」は、『私は今日一日頑張ります。あなたも一緒に頑張りましょう。』と、互いにこれから始まる一日の生活を充実したものにしようと、エールを送るこ

とだと思いま

す。
自分の存在
を主張するこ
とは、自分の
良さに気づ
き、それを十
分に発揮する

ことができるということであり、他人の存在を認めるということは、他人のすばらしさが理解でき、それを学び取ろうすることができるということです。そして、互いに人間と人間としての関わり合いを深めることによって、様々な課題を解決していくことができるならば、私たちの毎日の生活は、一層明るく生き生きとしたものになることでしょう。『自分だけが幸せであればよい』といった心の貧しい人間は、本当の幸せをつかむことはできないでしょう。

コロナ禍で、世界が大きく変わろうとしている今、互いに認め合うことの大切さを、一人一人が再確認し、『おはようございます』の本当の意味を大きく広げたいものです。

本年も宜しくお願いいたします。

年頭所感

寅年に寄せて

日本私立小学校連合会副会長
聖ドミニコ学院小学校校長

土井 智子

普段生活しているときに、干支などは全く気にしていないのですが、

年始になると「今年の干支は…」と話題に上ってきます。今年は寅年。一説によると、寅年は「才能や運氣が芽吹き新しい成長が期待できる年」といわれているそうです。何とも縁起の良い話です。二〇二二年は希望に満ちた年になりそうな予感がします。

昨年の夏、リモートで行われた私立小学校夏季教員研修会に参加し、私学に勤める教職員の熱意に触れました。開催場所や日程など、様々な事情で全国の研修会に参加する機会から遠のいておりましたが、リモートでの開催はその垣根を取り払ってくれました。日本全国の小学校のうち私立小学校はわずか一・二%といわれていますが、常に新しいテーマに挑戦し、小学校教育の先陣をきって

走るその姿には勢いがあります。切磋琢磨しあい、議論を重ねている姿に私立学校に勤めている先生方のプ

ライドを感じました。

日々の活動に追われていると、知らず知らずのうちに視野狭窄に陥ることがあります。コロナ禍にあつて、課題が次々に発生しその対応に追われているにもかかわらず、対面での交流は避けて過ごすという日常は、意識を縮ませてしまっています。そんな中、全国に私学の仲間がいて、その場で出来る最善のことをしようと奮闘している姿に出会うと勇気が湧いてきます。

「私学は一つ、教育は私学から」という日私小連のモットーは、その言葉通り私たちの指針になっています。困難の中にあっても私学の力は発揮できるといふ力強さを実感し、互いに協力し、「新しい成長が期待できる」二〇二二年寅年にしてまいりましょう。

年頭所感

コロナ禍であつても

日本私立小学校連合会副会長
明星小学校校長

森 日出夫

初春のお喜びを申し上げます。本年もどうぞよろしく願います。

二〇二一年「今年の漢字」は「金」でした。コロナ禍で開催された東京オリンピック・パラリンピックで日本人選手が多数の「金」メダルを獲得したほか、大谷翔平選手が大リーグMVPを満票で受賞するなど、国内外でこれまでなし得られなかった多くの金字塔が打ち立てられました。パラリンピックでは、障がいと闘いながら栄冠を目指す選手達の強い意志と、鍛錬と工夫によって生み出された身体の動きに、多くの方がパラリンピックの理念を感じたのではないのでしょうか。人の可能性が開花できるよう、お互いに支え合える社会づくりへの思いを強めた大会でした。

さて、コロナの影響で昨年度に続き本年度も九州地区教員研修会が開

催できません

でしたが、令和四年度は長崎にて開催できるよう鋭意進めているところですので。一日も早くこの

ウィルスが沈静化し、子どもたちの笑顔とともに楽しい思い出がたくさんできますよう心より祈るばかりです。

九州地区私学連合会に、本年度九州文化学園小学校が、来年度は西南学院小学校が加盟して十五校となります。加盟校に通う児童の皆さんが、実り豊かな学校生活を送られること、そして、各校の先生方の今後のご健勝を念じ申し上げ、新年のご挨拶と致します。



年頭所感

コロナ後の教育に期待するもの

日本私立小学校連合会顧問

小泉 清裕

何とか早く新型コロナウイルスの蔓延が収束して、以前の生活が戻ってきてほしいと願う気持ちが強くある。それと同時に、以前の生活に戻るということは一体どういうことなのだろうと、ふと考えてしまう。

コロナウィルスの蔓延は、世界の多くの人々の生命や健康を奪い、そして日常生活に大きな変化を生み出した。教育の場においても、その影響は大きく、今までと同様の教育が行えないことも多くあり、先生方は大変な苦労をしてきた。

コロナウィルスの収束を強く願っているが、そのことで、それ以前の教育に戻ることを喜んでいていいのだろうか。私たちはコロナウィルスの蔓延からたくさんの方を学んだ。そして、その学んだことを教育にも生かすことが求められている。

単に、オンラインでの授業ができ

て目を向けるよい機会として捉えなくてはならない。

児童が心から学ぶことが楽しいと思える教育。人と人のつながりの大切さと難しさを理解できる教育。集団教育の中でも、児童の個性を生かした、多様性に満ちた教育。小学校教育ではこれらのことを主に、もう一度小学校教育の原点について考える必要がある。

私立小学校だからこそ実践できることをまず優先して行い、その上で、今後の日本の教育として世界に示せるものに高めていくことが求められている。

連合会発足八十一年目の活動として、「コロナ後の教育」の在り方について真剣に意見を交わし、これからの新しい教育を築き上げることを願う新年の幕開けである。

私学みんなが一つに なつて

国立学園小学校

校長 佐藤 純一

アフターコロナにおいて、教育界で取り組まなければならない課題の一つは、子どもの体力低下の問題である。遊びの時間が制約されてきたため、少し体を動かしたただけですぐに疲れてしまう子どもが多い。体力低下は集中力不足にもつながるので、けがや事故が増える可能性もある。もう一つはコミュニケーション不足の問題である。人との距離をとって生活してきたため、友だちと一緒に話し合うことも、活動することもしてこなかった。そのため、友だちの考えを聞き、広めたり深めたりする意識が低くなっている。この課題に對して、お上の指示を待つことなく、それぞれの私学がどのような取り組みをするのが楽しみだ。目の前にいる子どものことを一番よく分かっている先生方の知恵と工夫を発揮する時だ。この活動こそ、私学が盛り上

がり、みんなが一つになる時だと考
える。

年頭に思う

国府台女子学院小学部

学院長 平田 史郎

新年あけましておめでとうございます。
一昨年以来、長らく不安の中で過
ごしましたが、今年こそは安穩な生
活が戻ってくることに期待したいも
のです。

さて、釈尊は初期の經典『スッタ
ニパータ』の中で、慈しみの心とは「一
切の生きとし生けるものは、幸福で
あれ、安穩であれ、安樂であれ。い
かなる生物生類であつても、(中略)
目に見えるものでも、見えないもの
でも、遠くに住むものでも、近くに
住むものでも、すでに生まれたもの
でも、これから生まれようと欲する
ものでも、一切の生きとし生けるも
のは、幸せであれ。」と、未だ生まれ
ていない命に対してもその幸せを願

うことだと述べていますが、私達は
子孫から「良い祖先」だったと褒め
られるでしょうか。気掛かりです。

合掌

V

UCAの時代を生
き抜く学力を得る
ために

桐蔭学園小学校

校長 森 朋子

予測困難な現代はUCAの時代
と呼ばれています。まさにその真っ
只中にいる子どもたちへ、学校でも
これまでのように、解があるものを
すばやく正確に学ぶ、といった高度
成長期の学びから、正解かどうかは
分からないが、考えて自分なりの解
を出し、仲間と共有しながら共に知
識を構築していく新しい学び方が必
要です。そこに向けて、本校は一昨
年度より改革に着手しています。人
生百年時代の何事においても基盤と
なる「学びに向かう力」を喚起する
授業、教師の名人芸だけでなく、カ
リキュラムで学びを担保するマネジ
メントを徹底しています。特に方法

学 びを止めない

甲南小学校

校長 柵 津 芳 信

としては思考力を高めるシンキング
ツールを導入し、二〇二二年二月
十九日には公開研究会を開催いたし
ます。みなさまのご参加をお待ちし
ております。

謹んで新年のお喜びを申し上げます。
コロナ禍ではありましたが、昨年

九月に、子ども達と教職員がいろ
ろと知恵を出し合い、無事創立
一一〇周年のお祝いの会を行うこと
ができました。六年生の子ども達が、
ICT機器を使いながら歌詞や作曲
作りに挑戦し、「希望のバトン」と
いう記念歌を披露することもできま
した。一一〇周年を機に、甲南生と
しての自覚や誇りを再確認できたよ
うに思います。

本年も工夫をしながらの学校運営
になりそうですが、子どもたちには、

できるだけたくさんさんの体験をさせてあげたいと考えています。

これからの不透明な時代を生き抜く逞しさを身につけ、健全な常識を持った世界に通用する人物の育成を目指します。

本年もどうぞ宜しくお願いいたします。



新春のお慶びを申し上げます。

本校は、教育モットー「人間の尊厳のために」を南山大学と共有しており、児童にも分かりやすいように「かけがえのないあなたと私のために」と言い換え、校訓としています。

一九三六年に設立された旧南山小学校では、児童の能力を呼び覚まし、自発的な活動を中心にして、自らが発見し、未知の事柄を探索するように導く教育を目指しました。二〇〇八年に復活した南山大学附属小学校に

おいても、同じ精神を継承しています。

本校の取り組みは、キリスト教精神に基づく人間教育、主体的に学び高め合う「真教育」、国際性の涵養、知的理解と厳しい知的訓練、家庭との教育連携、地域社会への貢献、小・中・高・大の連携による南山教育の実現、といったフリーズによってまとめられています。



新年おめでとうございます。

昭和学院小学校は、建学の精神のもと、一人ひとりの個性を伸ばし、素直でのびのびとした心を育てることを大切にしています。

変化の激しい今という時代を生きる子ども達が自分の夢を持ち夢に向かって進めるよう、また、社会で貢献できる人となるよう、私たちは応援していきたい。そのためには、

伝統を大切にしながらも常に前進する学校でありたいと考えています。

本年もどうぞ宜しくお願い致します。

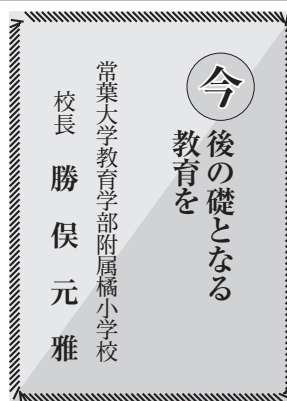


かつて「プログラミング学習は日本語で」といった講演会を聴いた。不可思議だった。友人の大学教授（ICT教育）に尋ねたが、やはり驚いていた。国本小学校では英語で実施している。なぜならプログラミング言語は英語である。iPadもアルファベット入力である。情報としての英語量は日本語より多い。ゆえにツールとしての英語力は必須であるからだ。

日本語学校に学ぶ青年に尋ねた。「あいいうえお」の発音からスタートするものの、母音字と子音字はアルファベット表記であるという。

子どもたちは確実にグローバル時

代を生きる。母語としての日本語は文化、伝統、風習を継承するに重んじる。ゆえに漢検協会賞をいただき名実ともに日本一となった。国本小学校の国語教育には定評がある。その実力を基盤として、英語教育も日本一を目指している。



コロナに翻弄されること丸二年、まだ、はつきりと出口が見えない中、新年を迎えることになりました。

コロナで従来の運動会の種目や宿泊体験活動の日数などが縮小、変更、制限されました。実際にこのようにしてみると、案外こちらの方が児童にとってはためになるのではないかということがいくつか出てきました。また、コロナでやむを得ず、新たに取り組んだオンライン授業やタブレット端末を使用した授業は、GIGAスクール構想の前倒しもあ

り、今や定番となりました。先の行事とともにこれらは、これからの新たな教育活動として今後の「礎」となるものと思っています。

今後のコロナの感染状況に留意することはもちろんのことですが、令和四年は、新たな教育への年となります。

今だからこそ日常の活動を大切に

岐阜聖徳学園大学附属小学校
校長 水谷 啓

この二年間、新型コロナウイルスが感染拡大し、多くの教育活動が実施できませんでした。残念な気持ち、悔しい気持ちなど様々な思いが交錯する毎日でした。

そんな中、昨年の秋より、新型コロナウイルス感染者が全校的に激減し、学校の日常を取り戻す絶好の機会が到来しました。

子どもたちは、きつと、取り戻しつつある日常の活動の中で、日々新しい事を発見したり、感動したりと

成長していくことが多くあると思います。この毎日の成長の積み上げが大きな自分の財産となり、力となると信じています。今だからこそ、日常の活動を大切に、楽しい毎日を過ごしたいものです。

白寿

むさしの学園小学校
校長 青木 洋介

年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。この一年が皆様にとって素晴らしいものになることをお祈り申し上げます。

むさしの学園小学校は、今年、創立九十九周年を迎えます。人では白寿です。大正十四年四月、東京府北多摩郡武蔵野村西窪の地で、六名の児童と三名の教師で産声を上げました。当時、中央線三鷹駅はまだなく、周囲は麦畑と雑木林ばかり。家はわずか六軒だったと聞きます。

縁ある方々のおかげで、今は府中に移り、営みを続けていますが、私

どのような小さな群れが、その任を果たし続けることは簡単ではありません。これまでの歩みを礎に、小ささゆえの身軽さを生かして、教職員一同、力を合わせて新たな挑戦に向かってまいります。本年もご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

新年ご挨拶

西武学園文理小学校
校長 飛田 浩昭

新しい年をお健やかに迎えのとお慶び申し上げます。

ノーベル賞受賞者のエイゲンが、一九七一年に進化生物学では過剰な変異は、ゲノムの安定性を自壊させ「エラーカタストロフ」の限界があると理論化し、この仮説のもとにコロナ感染者が減少に転じていると言われ、コロナ禍も少しずつ先に小さな明かりが見えてきたように感じています。しかし、まだ油断はできません。



オンライン授業を体験した私達は、人と人が直接会わなくても意思が伝わり、学べるということが分かりました。しかし、小学校は、子ども達が学校に集い、その中で感じて、考えて、行動して、反省して、目標に向かって進んでいくところです。

小学校では、社会性を育まなければ人としての成長がありません。新しい生活様式は見えてきました。新しい価値観は、何でしょうか。地球温暖化を止める地球市民として同じ方向に向かうベクトルなのでしょうか。私立小学校で学ぶ子ども達が大きく変わったとき、それぞれの学校で学んだ価値観を集約させ、よりよい社会が構築できるように、私立小学校の自由な発想が生きると信じています。

皆様の学校の上に実り豊かな一年であるようにお祈りしています。

学

校経営を
戦略的に 14

福岡海星女子学院附属小学校

校長 山田 耕司

新春のお慶びを申し上げます。

寅年ですね。観察眼を養います。

With コロナの新しい学校生活
が定着しつつあります。九州地区は
新たに二校が加盟し、私立小学校教
育発展への期待が更に高まります。

小規模校の本校は、学校経営全般
を、建学の精神に因る教育の推進と
健康・安全・環境等の危機管理の視
点から常に捉え直し経営戦略を進
め、それぞれの家庭の求める小学校
教育を提供する工夫を重ね定員確保
にも努めております。

教育課題は、学習指導要領の求め
る国際的コミュニケーション力の基
礎を培う教育を本校の特色ある教育
との関連化、融合化を図る教育計画
の形成です。「主体的で深い学び」
の実践を「聴き合い活動」と「ポー
トフォリオ評価」で図る教育活動に
取り組み十五年目に入ります。

令和四年度は、SDGs に向けて

「宗教・人間性」を中心テーマに各
教科を結ぶ ICT を活用した教育を
実践します。インドネシアの姉妹校
とリモートによる交流をスタートさ
せました。まずは体験することの面
白さです。

経営課題は、多様な家庭環境に育
つ児童の入学に伴い、「集団での学
びを大切にしながら、個の成長を支
援する個別学習」の推進です。本学
院のモンテッソーリ教育の理念が後
押しをします。創立五十五年目の小
さな一歩です。一学年一学級の小さ
な学校ですが本年も宜しくご交誼ご
指導のほどお願いいたします。

国
語力

安田小学校

校長 新田 哲之

あけましておめでとうございま
す。

安田学園は、二〇二二年に創立
一〇七周年を迎えます。時代は移り

変わろうとも建学の精神「柔しく剛

く」が、一〇〇年以上続いてきたこ
とが喜びです。

今年も大事にするのは授業です。
子どもの学力や道徳性を高めるには
質の高い授業のほかはありません。
そのためにていねいに聞くこと、て
いねいに話すこと、ていねいに書く
ことをめあてにして、国語力を高め
ます。国語力が高まれば、すべての
授業が活性化し思考する授業ができ
ます。深く考える子になれば道徳性
も高まります。「授業が変われば子
どもは変わる」を念頭に、国語力を
高めていきます。

新
しい年を迎えて

須磨浦小学校

校長 岩 渕 正文

明けましておめでとうございま
す。

須磨浦小学校は一九〇二年（明治
三十五年）に開校し、兵庫県で最も
歴史のある私立小学校として百二十

年目を迎えます。

そこで昨年から引き続き、教育方
針として基礎基本の徹底と、単なる
知識だけにとどまらず、主体的・対
話的で深い学びができるような環境
づくりを目指してまいります。さら
に ICT 機器を活用しつつ、授業の
中でインプットした知識を色々な場
面でアウトプットできる対応力をつ
けるための研究と環境作りを積極的
に進めてまいります。

アナログな部分とデジタル化され
た部分を織り交ぜながら建学の精神
の「たくましい体、思いやりと誇り、
伸びやかな知性を育てる」という原
点に立ち返り、人間教育を行ってま
いります。

本年もよろしくお願い致します。

穏

やかな一年と
なりますように

鎌倉女子大学初等部

校長 勝 木 茂

あけましておめでとうございま
す。

一昨年来のコロナ禍の影響で、本校においても学校経営そのものをこれまでとは根本的に違う考え方で取り組まざるを得ない状況となりました。この状況がいつまで続くのかわかなかなか見通せない今、これらに柔軟に対応するだけではなく、今、何が出来るのかを考え実践していく一年となります。願わくは、コロナが終息し穏やかな一年となつてほしいものです。

さて、鎌倉女子大学は二〇三三年、創立八〇周年を迎えます。初等部は、一九五一年の開校以来、「感謝と奉仕に生きる人づくり」を建学の精神とし、皆様の信頼に応えるべく地道な教育活動が続けてまいりました。昨年八月には、中・高等部の新校舎が開設され、初等部も新年度よりこれまでの中等部をリニューアルした校舎に引っ越し、教育環境も拡大することとなります。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。



穏やかに新春をお迎えのことと拝察し、謹んでお喜び申しあげます。皆様には、平素より本校に対し、温かいご指導ご支援をいただいておりますことに心より感謝申しあげます。

さて、新型コロナウイルス感染症の感染拡大も収束の兆候を示し、緊急事態宣言も解除されましたが、「withコロナ時代」の到来に対応した新しい生活様式を身につけていかなければならないことは言うまでもありません。

一人一人の他者への心遣いが、私たちが希求して止まない健康で平和な社会へと歩む確実なロードマップであることを心に留め、本年もお子様の御教えである「和の精神」「利他の精神」を礎とした教育を進めて参る所存です。皆様には、本年も倍旧のご理解ご支援を賜りますようお願いいたします。



伏してお願ひ申しあげます。



新年のお慶びを申し上げます。

新しい年も、賢明学院小学校は、学院のモットーである「THE BEST」を目指します。「全てにおいて常に最上を目指し、最善の努力を尽くす」ことを日常の行動目標としていきます。

「昨日より今日、今日より明日」と、私たち一人一人が神からいただいた心身の能力を最大限に伸ばし、開花させるため日々努力し自己の向上を目指すことを約束しています。

賢明生が、互いに支え合い、共に努力して世の平和と人々の幸福に貢献できる人となるよう、切磋琢磨することを誓っています。

本年も、どうぞよろしくお願いいたします。



新年あけましておめでとうございます。本年も宜しくお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症は、比較的落ち着いた状況が続いております。子どもたちのために、このまま収束に向かうことを祈ります。

本校でも感染症対策の手を緩めることなく、しかし、子どもたちが伸び伸びと学校生活を送れるように努めてまいります。本校の校是である「行餘学文」の精神の元、特色ある生活の中での祈り、体験を通じた気づき、基礎を大切に学習を一段と進めてまいります。今後共、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様の益々のご繁栄・ご発展をお祈り申し上げます。

コ ロナ禍からの進歩

清明学園初等学校

校長 横山 豊治

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年に引き続き、今年も新年をコロナ禍で迎えることになりました。今、原稿を書いているのは十一月の中旬、新年を迎えたころの感染状況を大変心配しています。このまま、収束に向かうことを祈るばかりです。さて、コロナは教育の世界に必ずしも負の影響だけをもたらしたわけではないようです。ICT教育は驚くほどの二年で進みました。危機に直面すると、人間は必ず新しい進歩の道を探ります。今年もどのような危機が待っているかわかりませんが、人間のすばらしい能力を信じて、子どもたちのために日々進歩していきたいと願います。

本年も皆様にとってよい年となりますよう、お祈り申し上げます。

地球市民としての力

明星学園小学校

校長 剛力 正和

新年のお喜びを申し上げます。今、未来を創る子どもたちには、「地球市民」という視点が求められています。「地球」という一つの星に「生きる」を共にする私たちが、共に「より良く生きる」を創っていくという視点です。本校でも、外国語教育や異文化交流を含む日々の様々な場において、子どもたちに「地球市民」の感覚や知識を伝える努力をしてきています。「個性尊重」「自主自立」「自由平等」という「地球市民」の考え方そのものが建学の精神でもありますので、多様性を互いに受け止め合い、共に良い社会を創ることが毎日の学校で繰り返されています。「国は違うけれど同じ地球上に友だちがいる」ということは「地球市民」を最も感じられる事実です。本年も子どもたちと共に歩んで参ります。

多 様性を受け入れて

アサンブション国際小学校

校長 丹澤 直己

今年こそは明るい年、すなわち世界の人々が心豊かになれることを、お祈り申し上げます。

私たちは、今と未来を生きていきます。そこで求められるのは、一人一人の個性を大切にし、多様性を受け入れる寛容な心、「誠実・隣人愛・喜び」の思いやりの心が持てる豊かな心の育成です。つまり、「周りの人に誠実に接することで喜びを与えることができる。その喜びは自分への喜びとして返ってくる。」という事です。今だからこそ原点に戻り、私たち自身が手を取り合いながら「CONSENS」となり、多様性を受け入れ共に協働していかなければなりません。一人一人の存在の意味は、神から与えられた使命があるからです。誠実に、生き生きとエネルギーをシユに自分らしく共に歩んでいきましよう。

“Make a better world.”

研 修会ができる ありがたさ

雲雀丘学園小学校

校長 井口 光児

令和四年、新年のお慶びを申し上げます。

想像もしなかったコロナ禍で、毎年実施していた各地区の研修会や全国夏季研修会ができなかった昨年度と違い、令和三年度全国夏季研修会では、オンラインを活用した研修会を実施して頂き、新しい形で研修を深めることができました。お世話をした下さった皆様ありがとうございました。

皆で知恵を絞って工夫し、協力して実施することは、大変尊いことだと感じました。

学校行事も今までの踏襲ではなく、見方、考え方を変えて行う時代になったのだらうと思います。令和四年度こそ、皆様とお目にかかって語り合えるよう願っております。本

年もどうぞよろしくお願いいたします。

新時代を託す この子らに

聖ウルスラ学院英智小・中学校
校長 伊藤 宣子

「二十一世紀の新時代を見据えて」というフレーズが、コロナ禍社会により加速化している。新学習指導要領による教育が、次年度から高等学校での実施年がスタートする。新入児童の高校入学時の学習指導要領はどのように変化していくのであろうか。学習指導の更新期は、もっと早められることの可能性も予測できる。

さて、六〇〇万年の人類歴史の分析を以て思考するとき「人とはなんぞや」の命題から人間の発達段階における教育課題が鮮明に浮き上がってくる。「①存在②言葉・表現③行う」この三観点の豊かな教育によって、「資質、能力、価値観の育成」を幼児期から十八歳成人までに体験的、

体系的に教育研究と実践によって、どんな時代をも想像と創造力を錬磨できる「良心と意志と知性」を健やかな体と共に育みたいと願って、今年も「力の付く元気な学校」を仲間と共に日々前進し続けたいと願う。

新年を迎えて

追手門学院小学校
校長 井上 恵二

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。

新しい生活の在り方、新しい学校のあり方が定着してきました。その中で子どもたちがどれだけ生き生きとした学校生活を取り戻せたのでしょうか。今年、学校はこの二年間でできなくなってしまったことをどう復活させるのか、また、できなくなっただけの代わりに何を新しく創り出したのかを試されとても大切な年になりそうです。

今こそ「教育は私学から・私学は

一つ」の下、私立小学校の絆をさらに強くし、互いに学び合い、情報共有することがとても重要であると思います。そして、互いに成長し、今まで以上に私立小学校の輝きを出せたらと願います。コロナ禍の終息は少し先になりそうですが、全国の私立小学校のさらなる繁栄をお祈り申し上げます。

平穩の願い

湘南白百合学園小学校
校長 向井 民子

昨年四月に校長を拝命しました。しかしながら多忙を極め、湘南の風にゆっくり吹かれることもなく、本校で十年間一緒に過ごさせていだいた気分です。今年は、昨年やり残したことに優先順位をつけて、やれるものから一つひとつ丁寧に取り組んでまいります。子ども達にとっては、机の上では学べない多くの行事が中止や縮小になり、心と体の健康が心配です。コロナ禍前には戻れ

年頭にあたって

椋山女学園大学附属小学校
校長 森 和久

ませんが、少しずつ子ども達の笑顔が見られる日々を考えて、実行していく所存です。本校では、今年は改革の一步と考え、ハード面では、校庭整備など、教職員一同が子ども達の幸福のために力を合わせて邁進してまいります。皆様方のお力をお借りしながら、平穩な年になりますように、よろしくお願い申し上げます。

新年おめでとうございます。

昨年は新型コロナウイルス感染症の動向を見極めながら、その時々に応じた教育活動を探る一年でした。それでも、運動会、遠足、修学旅行、オーケストラとの共演コンサートなど、方法を工夫しながら多くの行事を実施できたことは大変よかったと考えております。そして、行事の実施のためにどうすればよいのかを、子どもたちを含めて考えたことで、

子どもたちも、困難な状況の中、すぐにあきらめるのではなく、最適な方法を見つけようとするようになってきているように思います。

本年もどのような一年になるのか予測困難ではありますが、子どもたちが、世の中の変化やあいまいさを前向きに受け止め、柔軟に粘り強く生きる力を身につけるための支援をして参りたいと存じます。本年もご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様の一層のご発展を祈念しております。

新しい年の初めのご挨拶

聖ステパノ学園小学校

校長 小川 正夫

新年おめでとうございます。

日本私立小学校連合会創設八十周年記念を迎えたこのこと誠に喜ばしく心よりお祝い申し上げます。私事ですが、私学で十二年学び、私学教育に携わって六十五年、七十七年の間、私学で生活したことになります。

其々に異なる時代的背景があっても、目指す教育の精神は今でも心に鮮やかに残っており、私学で学んで本当によかったと思っています。

新任教師だった頃、当時の校長先生から「神様は、あの子も、愛しておられるんだよね、小川君」と言われた言葉は、今でも強く自分を支えてくれています。

私学はそういうところです。私達の学校は、自然の中の小さな学校ですが、大きな愛をこめて、一人ひとりの成長を見つめていきたいと思っています。

年頭所感

英数学館小学校

校長 永留 聡

二〇二二年 どんな一年になるのでしょうか？ それは私たち次第な事は、言うまでもない事です、まずはコロナが収束に向かうことを心から祈りたいと思います。このコロナ禍で、学校現場でも変化が起きて

います。今までは当たり前だった全校集会をオンラインで行い、様々な行事も中止や形を変えながら実施せざるを得なくなりました。しかしながら、子どもたちの順応力は遥かに

大人を凌駕するものがあり、子どもたちの無限の可能性を痛感させられる日々です。児童たちは探究学習を中心にシフトし、単なる知識を覚えるのではなく、「正解のない問い」に対してアプローチしていく学習形態に対応し始めています。子どもたちの一人ひとりの才能を開花させられるような一年にしていきたいと思っています。

積小偽大

恵明学園小学校

校長 二宮 正隆

箱根恵明学園と恵明学園小学校は、新年を箱根大学駅伝と共に迎えます。子ども達は、全力で箱根路を駆け抜けていくランナーを応援しています。コロナ禍で、自宅にも帰省

できない子ども達にとって、楽しみの一つです。保護者が養育できない子が、児童相談所から送致され養育しているのですが、基本的な生活習慣や学習など色々な面での遅れ等を取り戻すために、日々学級担任を中心に個に応じた指導助言等を繰り返して粘り強く実践しています。今年もいつ終わるか分らないコロナに留意しながら、子ども達の成長の一助になるべく、子ども達と共に前を向いて明るく邁進していきます。

「壬寅」の年 勢いよく 陽気に

菅生学園初等学校

校長 下平 孝富

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

みなさまにおかれましては恙なく新年をお迎えのことと存じます。

昨年もコロナウィルス感染拡大に学校行事等が影響をされた年でした。みなさまの学校でも少なからず同様だったのではないかと思います。

す。感染の拡大については小康状態といったことなのでしょう。このまま終息をしてほしいものです。

さて、今年は壬寅の年。「壬」という字は下に「陽気」を孕んでいる状態。「寅」は春の草木が芽吹くことに通じる意味を持つ文字だそうです。十二支の寅は、決断力と才知の象徴。これらの文字にあやかっ、様々な問題に「陽気」にかつ春の草木が芽吹くような「勢い」を持って立ち向かいたいと存じます。今年もご指導をよろしくお願い申し上げます。

未 来に挑戦する 子どもたち

相模女子大学小学部

校長 川原田 康 文

新型コロナウイルスが蔓延する中、昨年は、日本で東京オリンピック・パラリンピック二〇二〇が行なわれ、感動と希望の光を全世界に届けることができました。

世界的な環境の変化もあり、今後

も先が見通せない状況が続くそうです。昨年、小学部で行なっている「探究の学習」は、他では見られない形式で実施しています。この学習は、子どもたちの未来につながる学習であり、自分の好きをさらに深め広げる学習です。そして、自分に自信を持ち、高め、挑戦し続ける姿勢を育てています。

全学級に入れた大型の電子黒板とタブレットを使って、共に学び合い、高め合いながら楽しい学習も行なっています。

自然の中で、地にしっかりと足をつけ、確実に子どもたちは育っています。

希 望をもって

目黒星美学園小学校

校長 小島 理 恵

新春のお慶びを申し上げます。

新型コロナウイルスが猛威を振るい、また新たな変異株が姿を現しました。感染者が少し落ち着いたと安

堵していた矢先でした。しかし、「負けてはいられません！子ども達が安心し、そして充実した学校生活を送ることができるよう頑張りましょう！」と、全教員で試行錯誤しながら奮闘する毎日です。

今年度は、状況を見ながら万全の準備を整え、運動会や音楽発表会、英語朗読劇やクリスマス会、遠足など、様々な行事を実施してまいりました。子ども達の喜ぶ笑顔にどれほど励まされていることでしょう。

「どんなことでも必ず終わりが来る」ことに希望をおき、人間を超える存在に信頼して、今年も教育活動を展開してまいりたいと思います。本年も、どうぞよろしくお願い申し上げます。

3 K

桜の聖母学院小学校

校長 武藤 浩 之

私が教職に就いて間もないときですから、もう三十年以上前のことに

なります。世に流行りの言葉がありました。「3K」です。私と同年代か、もしくは上の世代の方はご記憶のことでしょう。結婚相手や職業に関することを「K」に当てはめたのですが、今のご時世、間違いなく差別的と批判されます。

その後、教員として十年ほど経った頃、久しぶりに「3K」の文字を目にしました。教育に関する小冊子に書かれていたことなので、これは取り上げて全く問題ないと思います。経験と勘と気分。この三つで「3K」です。

経験を積み重ねることの大切さは、職種を問いません。経験に基づきながら、何らかの判断、選択、決定をする場合も多々あります。ただし、です。経験に拠ることがあまりにも多いのは教員です。勘と気分で何とか済ませてしまいうのも教員です。そしてこの「3K」。教員の中で最も陥りやすいのは、いわゆるベテランと呼ばれる世代です。自戒したいものです。



新しい年に向かって

東京農業大学稲花小学校

校長 夏 秋 啓 子

新春のお慶びを申し上げます。

平成三十一年に開校した本校は、この春に新入生を迎え、ようやく四年生までそろいます。

新しい学校には「前例」がありません。教職員が協力して、一つ一つベストな方法を考え、実行していくしかないのです。一方、「前例」がないだけに、新しい取り組みに挑戦する機会もたくさんあります。

コロナ禍で普及が加速した「オンラインコミュニケーション」ですが、本校でも授業参観、保護者面談、学校説明会、入試での面接など、多方面での活用が続いています。会議などでのオンライン活用はまた、教員の働き方改革にも大きく貢献していると実感します。

今年はどんな一年になるでしょうか。新しい年も、未来を担う子どもたちの夢を応援する学校でありたい

と願っています。

コロナ後の学校生活

聖セシリア小学校

校長 服 部 啓 明

教頭先生がマスクを外して校庭の小さな畑を耕していたところ、通りがかった二年生から「先生の顔を初めて見ました」と言われたそうです。なるほど二年生は入学時からマスクをつけた生活を送ってきたため、先生の顔の半分を見ていないのでした。

コロナ対応のための窮屈な日々が続きますが、それによって見えてきたこともあります。対策として行ったことがそれ以前よりよいものとなったたり、できなくなってしまう当たり前のことがかけがえのないこととであつたと気づいたりしました。不要不急については何が不要で何が不急かを考え直す機会ともなりまして。

新たな変異株が確認されるなど未

だ予断を許しませんが、コロナ禍にあつて得られたプラスとしての感謝や発見をコロナ後の教育に活かせることを念じます。

今の瞬間の豊かさよ

福山暁の星小学校

校長 児 玉 ゆかり

明けましておめでとうございます。

コロナ禍中での二度目の新年を迎え、創立者のマリー・テレーズ・ド・スピランの言葉「今の瞬間の豊かさよ」を改めてかみしめています。二〇二一年度は、二〇二〇年度よりできたことが増えたのは、うれしいことでした。コロナ禍を、教育の本質を問い直す機会と捉え、学校の役割、学校でしかできないこと、そして「今」何が大切なのかをこれまで以上に真剣に考え、行事、授業を抜本的に見直してきました。

本年も、予測不能な時代をたくましく生き抜く力をつけることを目指

し、学校での実体験や子ども同士のつながりを通して、小さな喜びを見つめる力、感じ取る感性を子どもたちに育むことを大切に、「今」できることに一生懸命取り組んでまいります。

カトリック教育を土台とした人づくり

晃華学園小学校

校長 片 桐 有志司

コロナ禍三年目の新しい年を迎えましたが、感染拡大が懸念される中、各私学がまず取り組んだことはオンライン授業を始めとしたメディア教育の確立でした。本校でも急速な勢いで進み、今後の教育に大いに役立ってくるものと思います。しかしコロナ禍により学校教育においては子どもたちが互いの関りの中で体験し、経験を重ねながら学びを深めていく過程が何よりも必要であり、人は人と繋がり関わっていかなければ生きてはいけない存在なのだという事実に変更して強く気付かされまし

た。今年もカトリック精神に基づき、神様から愛されている一人ひとりの尊厳を大切にし、自分を高め、人と共に生きることの喜びを知り、人のために尽くせる児童の育成を質の高い教育の中で目指してまいります。

「魅」 力ある学校」 の創造

国立音楽大学附属小学校

校長 千木良 康 志

私の考える「魅力ある学校」とは、①子どもが満足する学校 ②保護者が安心する学校 ③卒業生が誇りに思う学校 ④教職員が生きがい・行きがいを感じる学校 だと信じています。そして、そのような学校を創造するためには、コロナ禍においても、できない理由をならべるのではなく、どうやったらできるかを考える必要があります。それが日本教育に欠けているところであり、課題だと感じているからです。どんなに世の中が変わり社会が変化したとしても、よりよく生きたいという子ども

たちの願いは変わりません。そして、その願いを実現するのが学校であり教育の力なのです。

「慈」 愛のまなざし

トキワ松学園小学校

校長 栗 林 明 弘

昨年十一月に創立七十周年を終えて、今年はまた新しい一歩が始まりました。さらに学校は続いていかなければならない。

そのためにも、伝統を重んじながら教育内容はアップデートされているか、子ども達にとって学校は安全で楽しいところか、後進は重層的に育っているか、いろいろなことが、校長に問われている。

昨年の創立七十周年の中で、改めて意識したのが愛校心―学校への慈愛の心である。子ども達はもちろんのこと、先生方にも大切に育んでほしい心と思う。それが正しく、豊かであれば、おのずと方向は決まってくる。

今年も一年間、慈愛のまなざしをもって、子ども達ひとり一人を見つめていきたい。

「安」 心を届ける

さとえ学園小学校

校長 小野田 正 範

令和三年は、コロナ禍での学校運営をどれだけ充実させるかに腐心した一年でした。集団活動、校外学習、

保護者参観などが制限され、本来活性化を目指す日々の教育活動を、いかに静粛にいかにか効率よく行い、その中でいかに成果をあげるかが課題となりました。在宅勤務で授業を行う良さはあったものの、職員同士の

懇親、懇談の機会もなく、意思の疎通不足をもどかしく感じることもありました。登校可能な時でも保護者の在宅オンライン授業の意向にも応え、ハイブリッド授業を展開し、学期末保護者会や面談も画面上で行いました。早くコロナ禍以前に戻りたいと思う反面、教育の形は日々変

わっていくものと捉えました。どのような状況下でも安心できる学びを届けるのが私立小学校の役目だと考えるこの頃です。

「こ」 れからの 立教小学校

立教小学校

校長 田 代 正 行

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

我々の立教学院は、一人ひとりの「人間の尊厳」を大切にし、他者の痛みや敏感に共感できる者たちを生み育てる事を、建学の精神の根幹として参りました。

本校は今年で設立七十五周年を迎えます。今後も建学の精神に照らし合わせ、変えてはならぬものは守り続け、変えなくてはならぬものは、勇気を持って変えていかななくてはならないと考えております。

オンラインでできること、できないことが、コロナ禍を通してはっきりと見えてきました。学校生活の中

に、子どもたちの自己肯定感が増すような活動・行事を意図的、意識的に取り入れ、子どもたちがワクワクするような新校舎建築に向けて、準備を開始したいと考えております。本年もご指導のほど、お願い申し上げます。



新年あけましておめでとうございます。

二〇二一年も、引き続きコロナの影響により、学校の教育活動に様々な制限がありました。何よりも児童の安全・安心を第一に腐心した毎日だったように思います。今年は制限が緩和されることを祈ります。関西学院初等部は、「Mastery for Service」(社会と人のために自らを鍛える)というスクールモットーを持っています。これは普遍的な理念であると同時に今のコロナ禍の状況におい

て、さらに大きな意味を持つことがわかりました。まだコロナ禍の収束は見通せません。新しい年も、人と人との関わり合いを大切に、他者のために、他者とともに自らを鍛え、他者とともに歩むことのできる子どもたちの姿を目指して私たち自身も学び続けたいと考えています。



本校が、ICT環境の整備に乗り出して七年目に入ろうとしている。当時、子どもたちが活躍する未来社会の必須条件としてICTを活用した学びが求められるとの判断であった。喧々諤々、教師集団の夫々の教育観も相まって重い滑り出しであった。時を経て突然のコロナウイルスの全世界席卷は、教育現場にICT環境の流布を迫った。幸い本校は、条件が整備されていたこともあり、直ぐにオンライン授業の展開が可能

となった。今では、インフラも完備され、児童・教師もタブレット端末の活用が進んできている。今後のデジタル文化を支える土台を思うとき、伝統的な日本文化や建学の精神などアイデンティティを包含した人間性回帰(アナログ)を願うものである。



新年おめでとうございます。コロナ狂騒曲に翻弄された二年間でしたが、ようやく明かりが見えてきたような気がします。様々な制限を強いられましたが、そのおかげで古くからの慣習から解放されて、本来に必要なもの、大切なことに気づかされた二年間でもあったと思います。また、知恵を出し合うこと、チャレンジすること、協力し合うことを私たち教師が切羽詰まって体験できた貴重な時でもありました。

今年度の初めより、「スクラップ&ビルド」を教員会等で言い続けてきました。ついビルドに目がいきがちですが、スクラップに向かう勇氣、決断が必要とされていることを感じます。今年も皆様から様々な刺激と情報をいただきながら、前に進んでいく一年にしたいと思います。どうぞよろしく願います。



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。新型コロナウイルス感染の状況が、現在に至るまで続いているとは、一年前には思いもありませんでした。この一年も、社会全体がさまざまな制限の中で活動してきました。そのような状況の中でしたが、子どもたちはストレスを抱えながらも、一生懸命に学習活動に取り組んできました。一日も早く、マスクをとり、

お互いが顔と顔を見合いながら学校生活を送りたいと願うものです。新しい生活様式の中にあっても、本校の教育理念である、「キリスト教教育を土台として、神と人に仕える児童を育成する」ことを心に留めて、他者の必要を考えることのできる児童の育成に努めてまいりたいと思います。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

新年を迎えて

東京都市大学付属小学校

校長 松木 尚

新年あけましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりました。

昨年は、新型コロナウイルス感染が収まらず、デルタ株なる変異種なども現れ、校内では子どもたちが楽しみにしていた多くのプログラムが未消化となりました。

そのような中でしたが、少しでも子どもたちのためにと創意工夫を重ね

ね、コロナと睨みあいながら教育活動を行われた各校の先生方には本当に頭が下がります。

まだまだ完全なる終息が見えませんが、ワクチンの接種が進み、感染者が少なくなり、僅かながら明るい兆しもあります。私たちもこの機を逃さず、児童が胸躍らせ学べる学校づくりに邁進して参りたいと存じます。新しい年が、より佳い年になりますことを祈念いたしまして、年頭の挨拶とさせていただきます。

今年もよろしくお願い致します。

底 冷えの運動会

東洋英和女学院小学部

校長 山本 香織

二年近くに及ぶ新型コロナウイルスの影響下の日々で、つくづくわかりました。学校生活というものは、いかに子どもたちにとって大切か…。

延期延期の末、秋の終わり、だいぶ冷えてから実施できた運動会は、準備の段階から、本番はもちろん、

学校じゅうに活力、笑顔があふれていました。

制限の多い中ではあっても、学校での様々な体験、多くのコミュニケーションから、協調性や、自己肯定感を学ぶ機会を子どもたちから奪ってはなりません。温泉旅行でしばらくのんびりできていないなあと思ってみても、大人には来年も再来年もあります。でも子どもにとって、小学校のその学年はもう二度とありません。子どもたちの思いに寄り添い、できる範囲でできることを工夫し、提供する学校であり続けたいと願っております。

多 様性を育む

日本女子大学附属豊明小学校

校長 山口 博子

新年明けましておめでとうございます。日頃、日私小連の活動にお支え頂き厚く御礼申し上げます。

昨年のオリンピック・パラリンピックでは「多様性の日本」が示さ

れたと感じました。小学校の生活では自己認識の段階、自分とは違う他者に気づく段階、違う考えがあることで自分が成長できると体験する段階、そして互いの良さを集結し新たなものを生み出す段階。この段階を一つ一つ積み上げていくことで多様性の土台が築けるのではないかと思います。高学年女子は一人になる不安から同調性に傾きやすく、自他ともに尊重することを難しいと捉えます。人との違いに関心を寄せ、優秀ではなく、特徴として認め合う学校生活を送らせたいと望んでいます。

個性豊かな私学教育の実践を励みに努めて参ります。本年も宜しくお願い申し上げます。

希望を持って

平和学園小学校

校長 橘 明子

この数年の児童の生活は、感染症の流行により様々なことが制限されてきました。その中にあっても児童

の生きる環境を守りつつ、児童期に必要な力を蓄えて成長してほしいと願い、共に歩んできました。さて、新しい年を迎えました。今年も社会の動きをしっかりとは見据えながら、平和学園小学校にしかない「平和教育」をより充実させていきたいと考えています。そして、他者と共に生きる社会で「自分にできることは何かを考えて行動する」、児童がそのような目標を持ちながら自分らしく生きていかれるように育んでいきたいと思っています。

新たな学びへの挑戦

帝京大学小学校

校長 石井卓之

OECDの示したVUCA時代は、現在のコロナ禍での世界情勢に近いと感じています。そこで、帝京大学グループの「自分流」を核に据え「なりたい自分」になるために、日々「自分の頭で考える」ことを大切にしなが教育活動を推進してい

ます。

「キャリアパスポートデー」では、十二の企業や協会の協力を得て、体験型の授業を実施し、その中で働くことの素晴らしさに触れました。また、英語教育のゴールを明確にするため、大学に在籍している留学生を英語で校内案内したり、オーストラリアの小学校とオンラインでつながり国際交流をしたりする中で、英語でコミュニケーションする喜びを味わいました。今年は、校庭の荒れた山を里山として復活させるプロジェクトを、課題解決型の授業として進めていきます。

小学校教育の原点を守る

品川翔英小学校

校長 小野時英

謹んで新年のお喜びを申し上げます。

今年は品川翔英小学校が開校して七十年目の節目の年となりました。本校は中・高の「共学化」に伴い、

小学校も校名を「品川翔英小学校」として、新しくスタートしました。その後の二年間はコロナ禍により、学習も行事も以前のような形で実行できなくなりました。しかし、その困難を乗り越えて「新しい形での学習や行事」を先生方は模索しながら提案し、実施してくださりました。また、子供たちもそれに応えて「目の前の今できること」をみんなの力を集めて一生懸命にやってくれました。子供たちの無限の能力の高さと適応力の確かさには驚かされました。これからも子供たちの未来を見据えて、さらに充実した教育をしてまいります。

先生方のご健康とご多幸、各私立学校のご発展を心よりお祈り申し上げます。



新しい年を迎えて

ノートルダム学院小学校

校長 原山稔郎

新年あけましておめでとうございます。

本校は、「神さま、私たちがよくものを考え、判断し、正しいことを実行することが出来ますように、力をお与えください。」という朝の祈りで一日が始まります。

コロナ下における困難は、建学の精神を貫きながらも時代のニーズに応えるために、これまでの教育活動を見直す時間を神さまが与えてくださったのだと思えてきました。教皇フランシスコの来日テーマの「すべてのいのちを守る」という観点を大切にし、一人ひとりが責任を持って正しく行動することが、自分の命や家族の命、まわりの人の命を守ることにあります。そのため、今まで以上に、人と人とのつながりや絆を感じることであります。

今年も子どもたちの笑顔のため

に、祈りながら、決意を新たに歩みたいと思います。

年頭所感

日出学園小学校

校長 荻原 巖

明けましておめでとうございす。今年度の学校目標を『自分のよさを知り、未来にたくましく進める子』としました。自分に自信が持てない、自分の好きところは特にない、ではなく自分のこころが好き、とはっきり言える子どもに成長して欲しいと思います。その良さを膨らませ、広げていきながら、夢や未来を描けるようになってほしい。そして、友達の良さを見つけ、認め合い、協働できる日出っ子として社会に羽ばたいてほしいと考えます。コロナ禍の下、感染症対策を講じた上での教育活動になりますが、児童一人ひとりの笑顔を大切にしながら取り組んで参ります。本年もどうぞよろしくお願いたします。

コロナ禍でも最大限の学びを！

和光小学校

校長 北山 ひと美

運動会で伝統的に行われてきた高学年騎馬戦、緊急事態宣言下では行うことができず、六年生は昨年に続き騎馬戦中止となったことで署名活動まで行いました。そのような子どもたちの気持ちを受け止め、感染状況が落ち着きを見せた十二月、騎馬戦大会を実施しました。五年生総合学習「食」の取り組み、六年生の沖縄学習旅行も実施でき、ほっとしています。また今年は東初協の初任者研修実習校に指定していただき、新任の五年生担任が、元校長で算数研究の専門家でもある行田氏から数か月間にわたって直接の指導を受けたり、初めて和光小で民舞指導をするようになった新任教員は民舞教育研究会から来ていただいた講師に指導方法を学ぶという時間を取ることもできました。十一月の幼稚園と合同での公開研究会は初めて完全オンライン

イン開催としましたが、重永会長はじめ日私小連加盟校の多くの先生方に参加していただきましたこと、心よりお礼申し上げます。

新しい年を迎えて

新渡戸文化小学校

校長 杉本 竜之

新春のお慶びを申し上げます。本校の最上位目標は「HAPPINESS CREATOR」です。この「HAPPINESS CREATOR」とは、自分の幸せだけではなく、周りの人の幸せもつくりだせる人になる、ということです。

これからの時代は、様々な文化や価値観が混在する社会になっていきます。このような社会をたくましく生き抜くためには、自分なりの考えを持ちつつ、多様な他者と共存・協調し、問題や課題を発見、解決し、主体的に行動できる力が必要になります。このような力は、基礎基本の学習内容を確実に習得し「自律型学

これから育むべき力

洗足学園小学校

校長 吉田 英也

新年おめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。

新型コロナウイルスの感染がまだ収束しない中で、また新しい一年が始まりました。これからのような時代になるのかは、だれにも見通せません。しかし、わかっているのは、コロナ以前とは違った社会になるということです。教育も変わるといいます。いや変わらざるを得ないと思います。子どもたちに対して、これからの困難で不透明な時代に対

習者」として学び続けることによって身につけることができます。そのために私たちは、本校の伝統である「どの子も我が子」の精神で一人一人の子どもたちを丁寧に支援してまいります。本年もどうぞよろしくお願いたします。

応し、今後起きるであろうさまざまな問題を解決し、乗り越えていく力を育むことが、求められるからです。導入の進んでいる ICT もそうした力を育てることにこそ役立てられなければなりません。私たちは、こうした問題意識を持ちながら、前に進んでいきたいと考えます。

一人ひとりの、 幸せな子ども時代 のために

桐朋小学校

校長 中村 博

コロナの時代であっても、一人ひとりが現在を充実させて、その人らしく生きることを励まします。その子その子が、かけがえのない存在です。一人ひとりを主人公とした学校でありたいと願い、『子どもを原点にした教育の実現』『社会の創り手となりゆくための根っこを育てること』を教育目標とします。学園の教育理念は、一九四七年制定教育基本法（深く関わった務台理作氏が初代理事長、校長）の精神「一人ひとり

の人格を尊重し、自主性を養い、個性を伸長するという、ヒューマニズムに立つ『人間教育』です。この精神と教育目標の実現に向け、実践をすすめます。学園、学校を人間が育ち合う場にし、一人ひとりを大切にする社会を創造します。

つながり合い、学び 合う

啓明学園初等学校

校長 佐川 康博

新春のお喜びを申し上げます。
昨年四月より手探りながら、工夫を重ね、各行事を含め、できるだけ通常に近い様々な教育活動に挑戦してきました。そこであらためて、感じたことがあります。子どもたちにとって、他者とのつながりの中で学び合うことが何よりも深い学びを追究できるということです。
本校では、友人と考え合う「学び合い」の中で、より奥行きのある「学び」の探究を教育活動の中心に位置づけています。

このようにつながり合い、学び合うことは、この先、子どもが多様な事象にぶつかっても、先の見通しを持って、主体的に課題を考察し、他者とともに支え合いながら、新しい価値を生み出し、立ち向かっていくことができる力につながっていくと思います。
今年もよろしくお願いいたします。

新年への抱負

東海大学付属静岡翔洋小学校

校長 江崎 雅治

新年、明けましておめでとうござい
ます。
本校は一九六七年四月、東海大学の創立者松前重義が目指す一貫教育の理想を実現すべく、建学の地である静岡市清水区三保の地に開校し、現在、幼稚園・小学校・中学校（中部）・高等学校・大学（海洋学部）・同大学院が一つのキャンパス内にある完全一貫教育システムの学園です。

救い主は

東星学園小学校

校長 大矢 正則

皆様、あけましておめでとうござい
ます。そして、少し時期が遅くは
なりましたが、クリスマスおめでと
うございます。この号が出るころは、
クリスマスからだいぶ経っているこ
とと思えますが、私たちカトリック
ミッション校が拠ってたつ教会の暦
では、新年はクリスマスを待つ時期
から始まります。そして、そのクリ
スマスの意義は、救い主イエス・キ

コロナ禍での新しい生活様式が求
められている中、今後さらにどのよ
うな教育を提供できるのか考えつ
つ、スケールメリットを最大限利
用し、創立者が掲げた一貫教育に対
する信念を継承するとともに、視野
の広い、世界に目を向けることで
きる人材、平和な社会づくりに貢
献する逞しい人材の育成に邁進いた
します。

リスト様が、赤子として馬小屋でお生まれになったことにあります。つまり、救い主は、赤子という最も弱い存在として、馬小屋という、おおよそ人が生れるような環境にはないところにお出で下さったということですね。救い主は、いつの時代にあっても、弱者の側に、しかも、人の意表を突いた場所に存在するものです。年の初めにあたって、このことを再確認したいと思います。

年 頭所感

ぐんま国際アカデミー初等部
副校長 野澤 弘道

本校では、行事の多くが縮小や中止となり、保護者が来校する機会を十分にとることはできませんでした。現場では、「みんなで一緒に行う」という教育活動には制限がかかり、思うように授業ができず歯がゆい思いをしていました。感染症が早く終息に向かうことを願ってやみません。ただ、オンライン化がすすみ、良

い変化をしたこともあります。会議は対面で行えないため、事前に資料を十分に作成し、議論すべきことをしぼるようになりました。面談は、遠方にいる保護者が、オンラインで参加するようになりました。何かが変われば関係するものも影響を受けて変化していきます。

未 来への希望

自由学園初等部
校長 佐藤 有子

新年あけましておめでとうござい
ます。

コロナ禍二年目となった昨年は、少しずつ落ち着いてきた状況の中で、今できることに努めた一年でした。東京郊外にある本校は、全校児童一八〇名、思い切り体を動かし、生き物に触れて遊べる豊かな自然が

あり、校内の環境や資源を生かして探求学習を行うことができたのは幸いでした。それでも、子どもたちの心と体に見えない影響があり、人と人が向き合って対話し、触れ合って過ごすことの大事さを感じた一年でもありました。

毎日元気に学び生活している子どもたちの存在自体が未来への希望です。二〇二二年、新しい年を迎え、子どもたちの信頼を寄せて、新しい学校生活を創り出していきたいと思っています。

コロナの収束を祈りつつ、今年もどうぞよろしく願いいたします。

中 期計画実行プラン

捜真小学校
校長 新藤 啓二

新春のお慶びを申し上げます。

私立小学校の教育を担う皆様に支えられ、ご一緒に平和な新年を迎えられますことを心より感謝申し上げます。

捜真学院は昨年創立一三五周年を迎えました。これを機に捜真の変えてはならない教育理念と二一世紀を生き抜く人を育てるために求められる課題を確認し、学院の中期計画実行プラン「JOSHIN ACTION PLAN「35」」を策定しました。特に、教育の質のさらなる改善・向上については、基礎学力と論理的思考・判断力・決断力・実行力が育つように、人生に必要な学びへと繋がる広い視野と深い知識を身につけられるように、「言葉」にフォーカスした教育を進めます。

今年は小学校創立六五周年の年を迎えて、記念誌の発行を予定しています。

本年もどうぞよろしく願い申し上げます。



年
頭所感

学習院初等科

科長 大澤 隆之

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年は、後半になってコロナ禍が少し落ち着きましたので、本校では分散ながらも、運動会や初等科祭を父母の参観可で行いました。遠足や音楽の発表会なども思い切っ行って、充実した日々となりました。海外とのテレビ電話や文通による交流も、順調に行うことができました。今年はいよいよ宿泊を伴う校外教育を再開する予定です。

今後も、「私学は一つ。教育は私学から。」という志で、本校の教育理念である「自重互敬」に象徴される情操教育と本質に迫る教科教育を旨とし、一層努力して参りたいと思います。

皆様のご健康とご多幸、各私立学校の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

人
間力を培う

京都女子大学附属小学校

校長 玉村 公二彦

新しい年は、コロナ禍を克服し、安心で穏やかな年となるよう祈念いたします。

年度ははじめからアルファ株・デルタ株によるコロナ感染の拡大があり、マスクの下で児童の表情の機微をとらえることが難しい日々が多くありました。教育活動にも制約がある生活でした。「予測困難」な時代といわれていますが、児童は日々確実に成長し、人間力を培っています。本校は、一九五七年に京都女子大学に附属して設立された小学校です。今年が設立から六五年となります。今後の将来に向けてこれまでを振り返り、新たな将来に向けて考えていく起点となる年となります。「いのち・ことは・こころ」を育む場として、児童とともに粘り強く歩み続けてまいります。どうぞよろしくお願いたします。

創
立十周年を迎えて

帝京大学可児小学校

校長 松山 央

謹んで新年のお慶びを申し上げます。皆様方の益々のご発展を心よりお祈りいたします。

さて、本校は昨年創立十周年を迎えました。まだまだ駆け出しの若い学校ですが、この十年を区切りにして前に前進し続けなければならないと、職員一同気持ちを新たにしているところです。その意味でも今年の十一月には、これまでの本校の授業研究の成果を近隣の教育関係者に見て頂こうと公表会を予定しております。期日は十一月五日(土)です。本校が進めてきた「探究型授業」や「オリジナル教科」をとくご覧いただければと思います。どうぞその節はご来校いただき、私どもの実践に対して忌憚のないご意見を賜ればと考えております。何とぞよろしくお願いたします。

新
しい年に願いを
込めて

沖縄三育小学校

校長 増田 敦

昨年もコロナウイルスの影響を受け、様々な教育活動に制限が加えられた一年でありました。しかし、そのような中にあっても様々な工夫をして取り組み、新たな知見が得られた一年でもあったのではないでしょう。まだまだ先行き不透明な状況が続きそうですが、この経験を活かし、よりよい教育の実現に向けて努力を継続していきたいと思えます。新しい年も、更なる新知見を得る取り組みができる一年となりますように願っています。本年もどうぞよろしくお願いたします。

「主に望みをおく人は新たな力を得、驚のように翼を張って上る。走っても弱ることなく、歩いても疲れない」(聖書)

新年あけまして おめでとう ございます

帝塚山学院小学校

校長 神 原 利 浩

新年あけましておめでとうございます。
各校におかれましては、困難な情勢下ではありますが、建学の精神の元私立小学校の教育の推進に邁進されていることと存じます。

本校もコロナの終息を想定し、少しずつではありますが本来の姿を取り戻しつつあります。

子どもたちにも「心のディスタンス」を生まないように、また普通の社会モラルを確認させながら日々充実した学習活動を展開しております。

機会がございましたらぜひともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

アフターコロナの 教育の変容

成城学園初等学校

校長 渡 辺 共 成

明けましておめでとうございませう。昨年は東京地区教員研修会会場をはじめ皆様方にたいへんお世話になりました。ありがとうございます。

オミクロン株など新変異株の感染拡大でコロナ収束の見通しは未だついておりません。オンライン学習などウィズコロナの新たな取組みは、対面授業を中心としてきた教育活動に劇的な変化をもたらしました。コロナ以前に戻ることはないと言われます。マスク常用や検温、手指消毒、「三密」回避が常態化しても、学校教育の本質は人と人とのつながりを実感できる人間教育であり、学び合いを通じて自他共に成長し社会をより良く発展させることです。ICT機器の活用はアフターコロナの教育では必須となりますが、それでも互いに学び合う姿勢を取り続けていく

所存です。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

土 壌作りから

成蹊小学校長

校長 跡 部 清

小学校に異動して約十か月。中高生の瑞々しい感性や活動時のたくましさの「素」に触れ、それらが育つ過程を今、一緒に楽しんでいます。

中高では、生き方につながる「価値観構築」に注力してきました。今度は出口を知る者として、そこにつながる一貫校だからできる土壌作りからの種まきを丁寧に進めていきます。大切なのは「不易流行」。伝統や建学の精神を核に、時代とともに飛躍できる学校でありたいと考えています。

コロナやガバナンス等、横たわる問題はたくさんありますが、東京の私立はひとつ。皆さんと手を携え、一緒に頑張りたいと存じます。

えらい人になるより もよい人間にな りたいな

同志社小学校

校長 横 井 和 彦

本校は、校歌の歌詞にもあるように、児童に、「よい人間」に近づくために「良心」を日常の活動や学びから身につけて欲しいと願っています。それは、「良心教育」を建学の精神とし、「キリスト教主義」「自由主義」「国際主義」を教育理念とする同志社大学に連なります。

今年も引き続き新型コロナウイルス感染症の感染拡大をはじめ、私たちの周りは、不確かなもので溢れることでしょう。けれどもどんなに先行きが不透明でも、どんなに時代が変わっても、変わらないものがあります。それは真理です。真理は、私たちに新しい人間として生きる希望と可能性を与えてくれます。本校は、真理を探究する学びである道草教育を引き続き進めてまいります。

新しい年を迎えて

奈良学園小学校

校長 梅田 真寿美

新年のお慶びを申し上げます。

幾度となく訪れる学校生活の困難を乗り越えながらの期間も二年が過ぎようとしています。同時に、安全対策を万全にとった上で、学びの場を充実させるために今できることは何か、努力し続けた二年間でもあったと思います。ICTの活用は飛躍的に進み、同時にデジタルの重要性も改めて認識することができました。でも、子どもたちにとっての「今」は取り戻すことができません。表情を見て人の思いを読み取ることをマスキに阻まれた中、多くの体験を通して、確かな学力を付けていくため、取り組みを継続してきました。

「予測のつかない未来」を生きる子どもたちに今付けておくべきは何か、歩みを前に進み続ける一年でありたいと思います。本年もどうぞよろしくお願い致します。

年頭にあたって

精華小学校

校長 大野 達夫

明けましておめでとうございます。

足掛け三年になるコロナ禍で学校が失ったものは大きいけれど、そんな中で加速度的に前進したのがICTの活用ではなかったでしょうか。本校も、本来の計画よりも早く一人一台の端末を実現し、オンライン授業だけでなく、様々な学習に活用できるようになりました。同時に、情報モラル教育を推進して、健全なICT環境の中での教育を充実させていくつもりです。

創立百周年を迎える今年、コロナによる災いを転じて福となす、新しい教育へのスタートにしたいと思っています。

本年もよろしく願いいたします。

できることを

暁星小学校

校長 吉川 直剛

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

コロナ禍での生活がまもなく二年となります。行事の中止が相次いだ昨年度とは違い、今年度は「できることを探して工夫して取り組む」ことを心がけて参りました。運動会や校外学習、縦割り交流など、分散実施やオンライン開催などと形は変わりましたが、できたことの喜びを、児童達と分かち合うことができました。感染状況は好転しているとはいえ、新たな変異種や第六波の懸念もあります。十分に注意を払いながら「できること」を探していきたいと思っています。また、再度機会を頂きました東京地区教員研修会の担当の準備も、今年度大変な状況下で実施された成城学園小学校の皆様のご苦勞から学びつつ、様々な状況に対応できるよう進めて参りたいと思います。



本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

子ども達の心の成長のために

聖学院小学校

校長 佐藤 慎

今年度も新型コロナウイルス感染症は子ども達の学校生活に大きな影響を与えています。中止や変更を余儀なくされることもたくさんありました。しかし、そのような中で、子ども達の良き成長のために忘れてはいけないこと、大切なことを改めて確認することができました。小学校の役割として特に大切な、互いを尊重し、互いを思いやる心を育てることは友だちと共に過ごし、言葉だけでなく、互いにしぐさや表情からも相手の心を知る経験が不可欠です。学校を開き続けること、そして対話的な学びを確保することに全力を注ぎたいと思います。

本年もよろしくお願い申し上げます。

い まこそ、 建学の理念を

淑徳小学校

校長 松本 太

この二年間で、ICTを取り入れた学習活動が推進されてきました。新しい生活様式も定着し、以前と同じ生活に戻ることはないと言われています。淑徳小学校でも、ICTを活用した学びを進展させ、成果を上げています。

ICTは、遠隔で人やモノと即座につながり、手軽に知識を得ることができ、大変有用なものです。しかし、学校は単に机上の知識を得るためにあるのではなく、友達や教師との触れ合いの中で、お互いを育て合う場です。人と人とのつながりや体験を通して学ぶ場の設定をこれまで以上に心がけ、重視しています。

ICT活用が当たり前の未来に向けて、児童一人ひとりが健やかに成長していくように、「利他共生」と「感恩奉仕」、建学の理念を具現化するべく全力を尽くす所存です。

生 きるチカラ

香里ヌヴェール学院小学校

校長 東山 さゆり

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

本校は、建学の精神であるカトリックの人間観・世界観に基づく教育を行っています。この精神は、SDGsの誰一人取り残さない、持続可能な社会を目指すという理念と一致していると思います。子どもたちの学びをSDGsの一七の目標に関連づけ、将来、世界的な視点をもつて、自らの手で未来を切り開いていく「生きるチカラ」が育まれるよう尽力してまいります。昨今のコロナ禍の中、たくさんの方々に支えていただいていることに感謝し、創立者の願い「平和の天使」を礎に教育活動を進めてまいります。ごさいま

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

子どもたちに平和な世界を

仁川学院小学校

校長 永尾 稔

謹んで新年のお慶びを申し上げます。昨年も、年明け早々から新型コロナウイルス感染症の影響を受けましたが、前年の経験を活かしながら、学校行事を根本から見直し、感染対策を講じながら、出来る範囲で実施しました。しかしながら、宿泊行事を中止にしたり、延期したりと苦慮しました。また、子どもたちが一堂に会することが難しかったため、学年ごとや低学年・高学年に分けて宗教朝礼を行ったり、カトリック学校としての儀式を行ったりと、工夫を凝らしながらの実施となりました。

まだまだ以前と同じような教育活動を行うことは叶いませんが、子どもたちの活動の場が少しでも増えるように努力したいと思います。

一年の初めにあたり、世界の平和と新型コロナウイルス感染症の終息をお祈りいたします。

新しい年を迎えて

川村小学校

校長 川村 正澄

明けましておめでとうございます。

多くの学校行事が、中止や延期となつて早二年。それに代わりオンライン対応が行われていますが、物足りなさがぬぐえないのも事実です。しかし、一筋の光が見え始めました。一時的な現象かもしれませんが、日本では感染者数が減少しております。大人はもちろん、子ども達も、努力しています。マスクをつけることが、習慣化しました。また、食べるのを二の次にしても、おしゃべりに花が咲いていた頃が懐かしく思われるほど、黙食に徹しています。そんな子ども達のためにも、行事の復活を願うばかりです。

令和四年の干支は「壬寅」比較的やさしい寅、厳しい冬を越え、芽吹き始め、新しい成長の礎となるイメージだそうです。明るい兆し、復

活が叶うのも、時間の問題と信じています。

新たな年に

聖坂養護学校

校長 佐野 明紀

一昨年、世界的、歴史的な出来事となった新型コロナウイルス感染症。昨年は、マスクの装着、三密の回避、フィジカルディスタンスがニューノーマルとなり、コロナ禍での生活となった。子どもたちに寄り添うその業がとても難しかった。本校の教育理念は隣人愛である。コロナ禍にあつて、ディスタンスが求められ、まさに隣人愛の逆説が生じていた。本年はこの現実を受けとめ、「知る力と見抜く力とを身につけて、あなた方の愛が益々豊かになり本当に重要なことを見分けられるように」このパウロの祈りを胸に、真摯に模索し、たゆまず歩み続けたい。様々な災いが起こる度に、神様は私たちに語りかけ、学ぶ機会を与えて

下さる。この新たな年に、コロナにただ怯えるのではなく、ウィズコロナの時代を子どもたちと共に生きる学校でありたい。

未

来を拓く『なぎさSTYLE』

なぎさ公園小学校

校長 渡邊 あけみ

あけましておめでとうございます。

昨年は、コロナ禍で開催されたオリンピックを通して世界とのつながりを感じた年でした。海外研修は、二年連続して実施できませんでしたが、工夫の一つに学園内の自然体験宿泊施設内でのイングリシユキャンプを実施できたことは幸いでした。コロナ禍で失ったものも多くありましたが、制限のある中で工夫や創造性を発揮したことも少なくありません。教師と児童の知恵に感謝です。今年も『なぎさスタイル』の教育に磨きをかけ、未来を見据えた新しい教育の創造に努めます。児童自ら世

界の中の私、私の中の世界を大きく拡げることができるよう決意を新たにしています。本年もどうぞよろしく願いいたします。

新

しい年を迎えて

早稲田実業学校初等部

校長 森 国 吉雄

コロナ禍が続く中、新しい年を迎えられ、心よりお慶び申し上げます。

これからも首都圏の感染状況は予断を許さない状況が続きますが、本校では、より一層感染予防策を徹底すると共に、子どもたちの安全と健康を第一とし、子どもたちの健やかな学びの保障との両立を図り、感染状況にに応じて今後の対応策を講じてまいります。

本校には、その校風を愛し、そこで学ぶことを喜びとする多くの子どもたちが集まるので、教師のきめ細やかな指導によって、初等部六年間で基礎学力をしっかりと身につける

と共に、「たくましい知性」と「しなやかな感性」を育んでいきたいと思ひます。

初等教育では、教師が子どもに与える影響には大きなものがあり、本校の全教職員は児童・保護者の皆様と誠実に向き合い、将来社会に多くの貢献をなしうる人格の育成に向け、全力を尽くしてまいります。

新しい時代へ「創意工夫」の力が試されるとき

日本私立小学校連合会常任理事
木村修二

新年おめでとうございます。

昨年の十二月二日には、日本私立小学校結成八十周年記念式典を文部科学大臣の末松信亮様をはじめ、私学団体の会長様にご臨席いただき、盛大に執り行われ皆様よりご祝辞をいただきました。日本私立小学校連合会は、昭和十六年に発令された「国民学校令」により、私立小学校を全廃するという知らせにより私立小学校の存続のために当時の校長たちが

力を結集して結成された会です。

二年前の新型コロナウイルス感染拡大により、子どもたちは今までのような学校生活を送ることができなくなっていました。しかし先生方は子どもの教育を止めることはあつてはならずと、慣れない ICT 機器を駆使し工夫と努力を重ねてきました。授業参観は分散方式、運動会は一家族一名やライブでの配信、校外での活動は宿泊を止め日帰り学習など、今までの学校活動の形を変えながらも継続して現在に至っています。

そこで見えてきたことは、できないではなく、できることをしようでした。最初からできないと諦めるのではなく、どのようになればできるのか、ということなのです。このことは日々の学校生活において、先生が子どもたちに投げかけている言葉の一つでもあります。

これからの時代、人工頭脳がさらに発展しコンピュータを活かした授業が当たり前のこととなるでしょう。だからこそ大胆かつ繊細な判断力で、自由な発想と積極的な授業を展開していくことが必須となり、それができるのが私立の学校です。ど

のようにすればできるのか」を合言葉に、今年も子どもたちのために頑張つて参りましょう。

今年もどうぞよろしくお願いいたします。

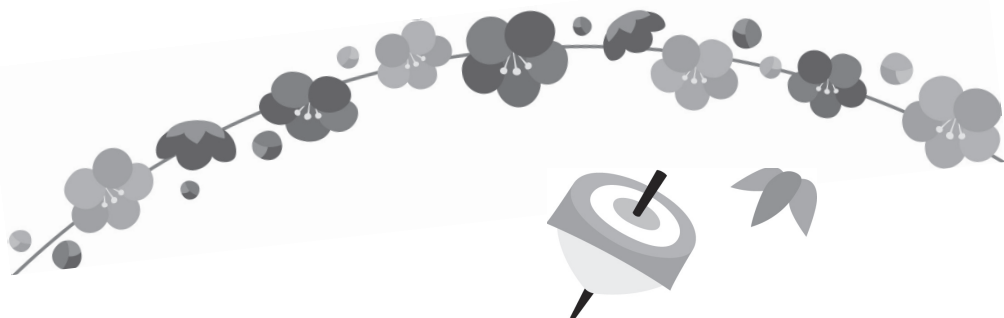
年頭所感

智辯学園奈良カレッジ小学部
校長 山本博正

新春のお慶びを申し上げます。

昨年度も、本校ではコロナ禍のため、いくつかの学校行事が実施できませんでした。そんな中でも、本校児童たちは笑顔で、創意工夫を凝らし、自分たちのできることに精一杯取り組んでいました。前向きな彼らの逞しさに感心する機会が多々ありました。令和四年も W I T H コロナの年になりそうですが、油断なく感染予防を続け、児童の学びを止めない努力を続けてまいります。

併せて、今後もぶれることなく、建学の理念に根ざし、「感謝の心」「相互礼拝・相互扶助の精神」及び「真



「善」「美」「聖」の高邁な価値を身につけた人間の育成に努めてまいります。
本年もどうぞよろしくお願いいたします。

年頭所感

高羽六甲アイランド小学校

校長 田川 智

新年あけましておめでとうございます。
ます。

令和四年の干支は、「壬寅」です。
暦によりますと、「陽氣を孕み、春の指導を助ける」とあり、冬が厳しいほど生命に満ちた春が生まれる、と解説されていました。

コロナ禍、室内でゲームをして遊ぶ時間が増え、戸外に出る機会が減少しておりますので、児童が体験を通して学ぶ校外学習などの機会をどのように増やすかが、今年度の課題だと思っております。自粛を余儀なくされるコロナ禍は冬の時代と理解すれば、コロナの終息とともに、春

が訪れ、新しい時代が到来すると期待が膨らみます。

子どもたちの力を信じて

七沢希望の丘初等学校

校長 大谷 京司

クリスマス会を明日に控えたりハササル最後の場面でした。円陣を作り、代表児童がかけ声をかけようとしたとき、一人の児童が輪に入ろうとせず固まってしまいました。全校児童二十五名のうちの唯一人の六年生がその子のもとに駆け寄り話しかけます。しかし、頑なにその子は動きません。先生も声をかけますが、時間だけが過ぎてゆきます。やがて、円陣全体が少しずつ形をいびつにながら、その子と六年生のところに動いてゆきます。最後は、その子と六年生を含んだ円陣となり、六年生が「明日は全力でがんばるぞ!」と声を出すと、みんな「オー!」と拳を突き上げ、気持ちが一つになりました。

新しい年も子どもたちの力を信じ、常にあたたかい空気で子どもたちを包み込みたいと思います。

新しい年を迎え

沖縄カトリック小学校

校長 二保 隆則

新しい年を迎え、おめでたい気分になりたいと思いつつも、常に新型コロナウイルスのことが頭から離れません。一旦は収束したかに見えた新型コロナウイルスですが、新しい変異株によって未だに心配を拭い去ることができていません。昨年は多くの教育活動がままならず、児童や保護者に多くの不安や寂しい思いをさせてしまいました。しかし、そのような中、二〇二〇年度の反省を生かし、リモート授業の準備を進めることができました。まだまだ課題は山積しておりますが、一歩一歩前進していきたいと思えます。何より、全ての教員が力を合わせてこのリモート授業を推し進められたことは大きな収穫



となりました。更に今年は去年よりも入念に準備し、訪れるかも知れない難局に対して、乗り越えていきたいと思っています。

年 頭所感

暁星国際流山小学校

校長 佐藤 智子

新春のお慶びを申し上げます。

本校は、国際化の時代に対応し、イマージョンプログラムによる英語教育、フランス語の習得など、授業時間を豊富に確保する中で、学ぶべきことを大いに吸収できるカリキュラムを工夫しています。そして、子ども達がこんな大人に育つための礎をしっかりと築くべく、職員一同取り組みで参ります。

◎自分自身の言葉で、どんな相手とも臆することなく、コミュニケーションをとれる人

◎自分らしさも、相手の「らしさ」も肯定的に受け止め、互いに高め合っていく人

◎自ら考え、行動し、自分なりの正解を見つけ出そうとあきらめずに努力する人
本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

コ ロナ禍の東雲

青山学院横浜英和小学校

校長 磯貝 曉成

謹賀新年

コロナ禍の暗がりの朝に光が現れ、やがて大地は明るさを取り戻す年であることを祈ります。

多くの人たちがコロナ禍の危機に對してこれまでの考え方や習慣を変えざるを得ないことに気付き出しました。子どもたちもまた、このパンデミックを自分なりに体験しています。

今年は、このコロナ禍を否定的にとらえることから積極的にとらえ直すことを始める年としましょう。逃げることでできない問いに、答えのない答えを自らが生きなければなら

ないことを受け止めて、一人ひとりが歩み出す年となりそうです。

子 どものいのちに 寄り添う

東京シュールレ江戸川小学校

校長 奥地 圭子

十五年前、不登校支援の中学校を開校したことに続き、一昨年、不登校特例校として当校を開校いたしました。コロナ休校の中の始まりでしたが、江戸川区の協力でお借りできた廃校は、子ども達の元氣にはしゃぎ回る声が響き、よみがえりました。今年三年目は、その子その子のいのちに寄り添い、その子に合った学びや成長支援を見つけ、共に生きあいたいということにつきます。そのためには、多様な学びが選べ、子どもの成長力が発揮される環境を作ることには力を注ぎたいと思います。

新 年を迎えて

雙葉小学校

校長 渡部 祐子

新春のお慶びを申し上げます。

本校及び姉妹校にとって、昨年と今年は大きな節目の年にあたります。昨年は、設立母体である「幼きイエス会」の創始者であるニコラ・バレ神父の生誕四〇〇年、そして今年「幼きイエス会」のシスターが来日して一五〇年目にあたる年です。

この四〇〇年そして一五〇年の間、社会は大きく変化し、教育も変化してきました。社会の変化に伴い教育の在り方が変化するのは、この二年間のパンデミック下で ICT 教育が急速に進んだことを見ても明らかです。

社会の変化をよく見極め対応しつつ、建学の精神に立ち返り、子どもたちがそれぞれの道を、希望をもって歩んでいけるよう、祈りのうちに育ててまいりたいと思います。

子どもを抱きしめる

横浜雙葉小学校

校長 田口 久美子

新春のお慶びを申し上げます。

昨年は本校でも授業のオンライン化が進み、再び児童が登校できなくなる事態に陥ったとしても、学習に関しては滞りなく進められると思います。オンライン上では、児童の積極性が促された一面もありましたが、一方で、集団で共同作業をしていく学校行事などが制限されたため、学校として、クラスとしての一体感を感じにくくなっています。また、叱る場面でも心の中では子どもをぎゅっと抱きしめる創立者以来の本校の伝統が、オンラインの画面を通してはなかなか伝わりません。

対面授業の中でICT技術を利用して子どもに興味を引き出すことはこれからもどんどん取り入れていきますが、子ども達を心の中で抱きしめる大切な場面が減らないように心がけていきたいと思います。

開校四年目 進化の道を求めて

九州文化学園小学校

校長 百津 真人

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年のコロナ禍の影響は、社会全体の生活様式や学校の在り方そのものを考えさせられるものでした。

ウィズコロナの中、本校は三本柱の一つ「ICT活用」において、①情報端末一人一台の活用で可能になる個別最適化した授業 ②教科の学びを深め、本質に迫る授業 ③教科の学びをつなぎ、STEAM教育の扉を開く授業 ④学校と学校、学校と家庭、学校と地域をつなぐオンライン授業 ⑤誰もが主役、一人一人の夢の実現を可能にするデジタルドリル活用授業 をテーマにGIGAスクール構想の実現を目指して研修に取り組みました。その成果として、日本教育工学協会（J A E T）様より「学校情報化優良校」に認定していただいたことは大変励みになりました。

りました。
開校四年目を迎え、未来を見据えた教育実践を一步ずつ着実に進めて参りたいと思います。

「新たな可能性」を探り続ける

聖徳大学附属小学校

校長 三須 吉隆

明けましておめでとうございます。皆様とともに、新たな年を迎えられますことを、心より感謝申し上げます。

本年は、建学の精神「和」のもと、ぶれず揺るがない価値観で続けてきた独自の教育実践に「今私たちにできることは何か、工夫と策を練り、『新たな可能性』を探り続ける一年」として、正にピンチをチャンスに変える思考で、力を尽くしてまいります。

一人ひとりが、かけがえない自分の可能性を発揮し輝けるよう、知的向上にとどまらず人間としての成長を目指し導いてまいります。子ども

もの豊かに伸びる姿こそが学校の宝です。

教職員一同知恵を出し合い、自らの力で未来を切り開く高い叡智と心豊かな人間性を備えた、新たな時代に羽ばたく子どもたちの育成に邁進してまいります。

原点に立って

帝塚山小学校

校長 野村 至弘

各校におかれましては、感染状況と予防対策に留意しながら、本来の教育活動に近づけるため、対応にご努力されていることと拝察いたします。一日も早く事態が落ち着き、今まで通り子ども達が思う存分活動できる世の中になることを祈るばかりです。

昨年末、日私小連が結成八十周年を迎えました。心からお慶び申し上げます。今や大きく成長したこの組織も、当初からこのような形でスタートしたではありません。各校

の教育をより良いものにしたい、日本中の先生方と交流したい、という先輩方の熱い思いから、努力に努力を重ねて、まさに手作りで築き上げられた組織の集まりと聞いています。研究態勢も様変わりしてきた昨今ではありますが、今一度私学連携の原点に立って、研究研修を主体的に進めていきたいと願っています。

新しい年に寄せて

白百合学園小学校

校長 根本 徳子

希望に満ちた新年を迎えまして、身の引き締まる思いがいたします。

この二年間は、未曾有のコロナ禍の中で、何ができるのか、何をしなければいけないのか、総力を挙げて、取り組んで参りました。重要な決断を求められることが続き、発想の転換を余儀なくされたことも度々でした。今まで改善できなかったことが、新たな気づきにより実現可能になり、驚きの中で多くのことを学ぶこ

とができました。又、昨年は本校の設立母体である修道女会創設三百二十五周年の記念すべき節目の年でもありました。多くの先輩方により長い間受け継がれてきた建学の精神と歴史を今後も確固たる思いで受け継いでいかなくはならないと決意を新たにしております。時代の要請に応えながら、過去に学び、将来を見据え、そして今できることを精一杯取り組んでまいりたいと思います。本年もよろしくお願い申し上げます。

新時代の世の光を目指して

昭和女子大学附属昭和小学校

校長 真下 峯子

減っては増え、増えは減る感染者数とコロナ変異株。人類は誕生以来このような戦いを何度繰返して来たのか。このような状況下でさえ、昨年も様々な軌跡を残した人類。

日本に限って言えば、東京五輪の金メダルラッシュや真鍋氏のノーベ

ル物理学賞受賞、大谷翔平選手のMLBでのMVP受賞など。大谷選手の愛読書で再び脚光を浴びた中村天風。

人間は自分の経験と学問で物を言う。人類はコロナと言う未曾有の経験を、今後何を考え未来を創造していくのか。決して一人では乗り越えられない出来事の数々。しかし、一つの命が生み出す可能性の奇跡。昭和学園の建学の精神である「世の光となろう」は、世界に対しても自分自身に対してもリーダーシップが取れる人間となろうということだと理解している。二〇二二年は新時代の世の光を目指して、様々にチャレンジして行く所存です。

感 動体験を

聖マリア学院小学校

校長 中村 洋

新春のお慶びを申し上げます。

「焼き芋を 友にさしだし 半分な。」収穫後の焼き芋大会での児童



の一句で、地元誌で紹介されました。子ども達が手にする焼き芋の味は様々で、きつと格別の甘さがあったのでしょうか。その甘みを友達にもお裾分けする、仲間心が嬉しいです。芋の後は、タマネギ栽培です。大きく育ったタマネギは五月に各家庭に持ち帰り、家庭の味として食卓で話が弾んでいるようです。

コロナ禍も影響しICT教育の取り組みが推奨されています。本校でもICT活用の研究に取り組み始めており、現実的な体験・実習との融和を図ることを大切にしていきたいと思っています。

東方の賢者

近畿大学附属小学校

校長 森田 哲

東方の博士たちは一つの星が昇るのを見て、長い旅に出る決意をした。行き先も定かではなく、困難が待ち受けているであろう事は容易に想像できた。愚かなこと。多くの人はそ

う思った。しかし、博士たちの心は期待と喜びに躍っていた。黄金・乳香・没薬を携え、世界の王に会うために旅立った。名作「賢者の贈り物」にも、大切な宝物を互いのために台無しにした「愚かな若い夫婦」が描かれているが、物語は「彼らこそ最高の賢者なのだ」という言葉で締めくくられている。人の目には愚かに映るかもしれない。しかし、博士たちも若い夫婦も、もっと大切なもののために喜んでそうしたのである。子どもたちのため、夜空に光る赤星を見失わぬように、そして楽しみながらこの一年の旅を始めたい。

スカット さわやかに！

明星小学校

校長 細水 保宏

新春のお喜びを申し上げます。教育は、三、六、九年後を見据えて、今何をすべきか考え、動くことが大切だと考え、「賢さ」と「豊かさ」を兼ね備えた、輝く子どもの育成」

を教育ビジョンに、「英語の強化」「理数の強化」「先進的プログラミング教育」の三つの柱に加えて、「探究」を推し進めています。

新年を迎え、子どもたちに大切にしてほしいものとして、「知的好奇心と学びを楽しむ心」の話をしようと考えています。実は、「知的好奇心と学びを楽しむ心」は先生方にも大切にしてほしいものです。教師一人ひとりの授業力の向上を図りながら、子どもたちや教師の笑顔が輝く、さわやかな学び舎を創っていききたいと思っています。

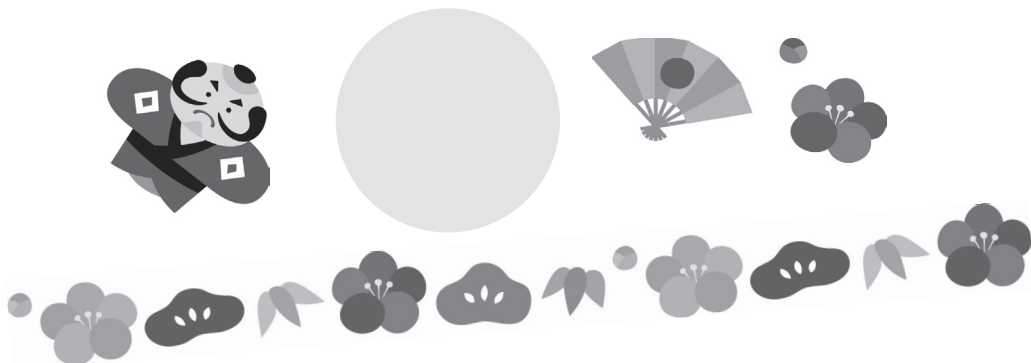
合い言葉は、「スカットとさわやかに！」

大切なこと

作新学院小学部

部長 八島 慎宏

本校では、ICTを活用しネット上で情報発信をする体制を整えています。それでも、「紙ベースのお便り」は味のあるものです。学級日より、



学年だより・小学部だよりは月ごとに印刷し発行しています。そんな中、肩ひじ張ることなく口語体の文言で書いているのが「部長室だより」です。その名の通り、部長室から垣間見える子どもたちの様子を子ども目線で書いています。

年頭所感に当たり、まさに「日常を細やかに見て、子どもたちや保護者と意思疎通していきたい」と思えばかりです。日常の言葉の掛け合いから、もしかしたら心の琴線に触れる機会が生まれるかもしれません。たとえ、その場ではなくても、数か月後でも、あるいは数年後でも関りを持ったことが活かされるのであれば本望ということです。



新春のお慶びを申し上げます。
今年も児童の「安全」と「健康」を第一として臨みます。学校生活を

段階的に取り戻せるよう、慎重かつ柔軟に取り組んでまいります。

長引くコロナ禍において、児童同士が互いの意思を伝え合うことが希薄になっているのではないかと危惧しております。また、児童と教職員、保護者と教職員においても、意思の疎通がなされにくくなっているように感じております。

「一言芳恩」とは、人からちよつと声を掛けてもらったことを忘れずに感謝するという言葉です。時には耳が痛くなることがあるかもしれませんが、しかし、そうした言葉も自分には恵みと受け止め、互いに声を掛け合い、感謝し合える良好な関係を築くことができるよう努めたいと思います。



新年おめでとうございます。
昨年もコロナへの対応に追われた

一年でした。今年こそ、日程の変更なく一年を過ごしたいと念じています。

コロナによって生活が大きく変わりました。手指消毒の励行はこれまでもありましたが、マスクの着用もこれに加わりました。毎日の検温と体調のチェック。県外への移動がなかなかできなくなりました。

マスクをつけると、表情も言葉も分かりにくくなりました。朝、「おはよう」と声をかけても、次々と登校してくる子どもたちが元気な顔なのか、声なのかよく分からず、残念です。

ニコニコ笑顔と元気な挨拶ができる一年となりますようお祈りいたします。



あけましておめでとうございま
す。コロナ禍において、感染者こそ

減ってはきているものの、依然として、自分の生命、互いの生命を愛しみ、大切に思う日々が続いています。厳しい状況だからこそ、こうして皆様と新年を迎えられましたことが、まず喜びです。日頃からの連携に心から感謝申し上げます。

「木を見て森を見ず」という言葉をかみしめています。一本一本の木に注意を奪われると、森全体を見ることができなくなる。英語のことわざ「You cannot see the wood for the trees」の通りです。厳しい状況の中で悶々としている状態は、まさに「木」しか見ていない状態。しかしながら、いろいろな人に相談したり、話をしたりすることで、視点を変えたり、物事を柔軟に考え視野を広げたりすることができ！できないと思っていたことが、いとも簡単にできたりする！「森」が見えてくる！

私学の連携の中で、諸先生方のご示唆のおかげで「森」が見えてきたことが、とくにこのコロナ禍において幾度もありました。ただただ感謝の思いです。

「木も見て、森も見る！」：厳しい状況だからこそ、既成概念を捨て、

さまざまな解決の糸口を子どもたちの笑顔につなげていきたいと強く思っております。

コロナ禍においても決して揺らぐことのない私学の発展と教育の進歩を祈念し、ご挨拶に代えさせていただきます。

子どもは 暗闇を照らす光

カリタス小学校

校長 内藤 貞子

昨年も九月はオンライン授業を余儀なくされました。前年度の経験からオンライン授業が日常の授業にも生かされ以前の学習スタイルから確実に変化してきました。しかし、本来学校は子どもたちがともに集い、触れ合うことが学びとなり成長していく場です。寒い朝でも笑顔で校庭をかけ回ったり羊たちの散歩をしたりしている子どもたちの姿をそばで見ていると、学校が子どもたちの居場所になっていることを実感しています。

人は困難なことが起きた時ほど知恵を出し合い考え壁を乗り越えようとしています。そして子どもたちはどんな状況であろうとも、未来に夢と希望を持って今を懸命に生きています。周りの人の力を借りることで「なんとかなる」と信じ、新しい一年を歩んでいきたいと思っています。

教育の力

聖徳学園小学校

校長 和田 知之

私立小学校の先生方、明けましておめでとうございます。

コロナ禍で日本の先行きがさらに不透明になってきています。日本の累積の借金は、二〇二一年時点で一二兆四六八〇億円を上回っています。これは人口で割ると、国民一人あたり九八三万円も借金を背負っている計算になります。どちらもダントツの世界第一位になっています。コロナ禍で少子化、少人口化も加速しています。このような状況

を打開していくのは、教育以外にありません。次世代を担う子どもたちを私立小学校が育てていきましよう。

原体験となる子ども の学びを大事に

和光鶴川小学校

校長 大野 裕一

今年度から校長の職に就きました。初めてのことで右往左往の一年でした。コロナ禍、様々な対応・判断に迫られました。子どもの健康や安全に配慮しつつ、子どもの生活に制限を求め続けることは心苦しい日々でした。子どもの成長にとって年齢が小さいほど、実物に触れること、人と関わること、遊ぶこと、食べること…原体験が大事だと考えます。昨年、運動会、合宿、秋まつりなどの行事を「心配だから中止」ではなく「どうすれば行うことができるか、ぎりぎりまで可能性を追求」し、実施しました。簡単なことではなく教職員で何時間も話し合い、親

の理解も得ながらの実施でした。今年こそ制限なく子どもたちの学びを保障できる年、先生たちがのびのびと実践できる年に、と願っています。

「世界の鐘」と「橘」

高知小学校

校長 友村 憲朗

謹んで初春のお喜びを申し上げます。

「この鐘の音の轟く所 永遠の真理と希望に輝き 世界の平和と友愛に満つ」

「鐘の音の心すみたる紳士たれ 橘の花かぐわしき淑女たれ」

本校は昭和三十二年の開学以来、信頼される人物を育成するという学園の基本理念のもと、「まごころをつらぬく子ども」「紳士・淑女」を育てることを教育方針に掲げ六十五年の歴史を刻んできました。

社会の変化は急激で、現代は予測困難な時代と言われています。こういう時代からこそ、教育にお

ける不易と流行をしっかりと見据えることが大切です。

創立一二〇有余年、県内唯一の総合学園である本学園の強みを活かした教育実践に取り組むとともに、今年も子どもたち一人ひとりの個性を伸ばす教育に邁進したいと考えています。

明
けましておめでとう
いっしょにこます。

聖マリア小学校
校長 門 家 誠

昨年本校は創立七〇周年を迎え、コロナの中どのようにしてここまで支えてくださった方々に感謝の気持ちを伝えたらよいかを模索し、児童たちの作品や映像をプロジェクトションマッピングにして楽しんでいただく準備しました。

十一月二十七日は六年生と合唱隊のメンバーが代表として参加し無事に終えることが出来ました。YouTube も九千回再生に迫る勢いで多くの卒業生や関係者に見ていただ

たようです（お時間が許せばご覧いただけると幸いです。検索ワード「聖マリア小学校」）。

忙しい中記念イベントのために時間を割いて子供たちと準備してくれた現場の教職員たちには感謝しています。新しいことを行うには大きなエネルギーが必要ですが、過程を含めて喜びも大きいとつくづく実感しました。

有
効な「負の力」

長崎精道小学校

校長 牧 山 涼 子

コロナ禍で休校中のある日、新聞紙上で目に留まった、ネガティブ・ケパリティという言葉が気になっています。短気に事実や理由を求めず、不確かさや不可解なことや状態の中に人が留まることができる能力という、詩人キーツによる概念です。日頃ついつい速さや区切り、効率に気を取られていたな、近頃は児童の絵や詩、自由研究の掲示物が醸し出

す創造力いっぱいの世界を楽しむ時間が減ってきたな、自身を振り返りました。気になる未解決課題も未解決

決感も受け留めて咀嚼するうちに、その負の状況がゆつくりと、心の中に理解や共感の土壌を拓いたり、進むべき方向を垣間見せたりすることは確か。モノと情報に囲まれていても、人の内奥に確かに宿る能力を見失わない教育をじっくり求めていきたいと思っています。

新
年を迎えて

日本大学藤沢小学校

校長 加 藤 隆 樹

明けておめでとうございませう。

現在も続く新型コロナウイルス感染症禍において、まだまだ心から落ち着くことができない学校生活ではあります。工夫をしながら、また、子ども達に協力をしてもらいながら、今年度は少しずつ行事を行うことができました。



五月に行った運動会は、子ども達だけでの取り組みでしたが、コロナ禍の暗い雰囲気吹き飛ばす素晴らしい笑顔と歓声に満ちた活気のある行事になりました。六年生の応援団長を中心にお互いを讃え合い、種目によっては勝ち負けが決まることもあり、悔しさの涙を見せる児童もいました。決して挫けることなく『ドンマイ・ドンマイ』とお互いの頑張りを認め、お互いを励まし合いながら、最後まで正々堂々と頑張っていました。

いつも元気に全力で取り組む子ども達には誇らしさを感じると共に、これからも子ども達にははじめを持って取り組む姿勢や人を思いやる温かな心を育てられるように、教職員一同しっかりと子ども達に向き合いです。今年もよろしくお願いいたします。



未 来からの留学生のための教育

慶應義塾横浜初等部

部長 神武直彦

謹んで新春のお慶びを申し上げます。昨年コロナ禍の影響は大きく、本校も様々な通常の取り組みを中止、延期、そして変更することを余儀なくされました。その中で、できることを行う、また「禍を転じて福となす」といったマインドで、オンライン授業や校外学習、運動会などを実施しました。コロナ禍を経た未来、特に、今の小学生が社会を牽引する世代となる二十年后、三十年後の世界はどのように変化しているのでしょうか？未来からの留学生である小学生が、その時に先導者として自己実現できる力を身につけるために、どのような教育を行うべきなのかを思考し、議論し、進めております。そのような取り組みで各校の皆様と一緒に頑張ることを願っています。

感謝をもって

聖ドミニコ学園小学校

校長 山下浩一郎

明けましておめでとうございます。新年のご挨拶を申し上げます。昨年も引き続き新型コロナウイルスに大きく影響された年でした。一学期の行事は縮小や中止となり、二学期はオンライン授業や分散登校が始まり、全員登校が始められたのは十月からでした。ようやく運動会や学園祭を実施することができ、行事での学びがいかに大切なものであるかを改めて知りました。発表に向けて日々の努力や友だちとのかわりの中にこそ、学校教育でしか味わえない学びがあります。日々の勉強だけでは獲得できない成長があります。今年も子どもたちとともに学び、できることを感謝し、目の前のことに一生懸命に取り組んでまいります。

◆編集後記

今年も日本私立小学校連合会会報新年号「新しい年への抱負」のご寄稿をお願いしたところ、一二〇名を超える先生方から教育に対する熱い思いを綴った原稿をいただきました。感謝申し上げます。

◆日本私立小学校連合会事務局より

明けましておめでとうございます。

本年もご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

事務局長 児玉 宏之
課長 河野 陽子
係長 長沼 莉宇
係員 齋藤 美奈



令和 4 年度
日私小連研修会日程表

(令和 3 年 12 月 7 日現在)

研修会	実施回数	集録番号	期 日	場 所
西 日 本 地 区	64	430	令和 4 年 5 月 27 日 (金)	光華小学校 (京都府)
東 京 地 区	59	431	令和 4 年 6 月 3 日 (金)	暁星小学校 (東京都)
全 国 夏 季	66	432	令和 4 年 8 月 17 日～19 日 (水～金)	新横浜プリンスホテル (神奈川県)
全 国 教 頭	46	433	令和 4 年 8 月 19・20 日 (金・土)	新横浜プリンスホテル (神奈川県) (仮)
北 海 道 ・ 東 北 地 区	51	434	令和 4 年 10 月 7 日 (金)	聖ドミニコ学院小学校 (宮城県)
九 州 地 区	47	435	令和 4 年 10 月 14・15 日 (金・土)	長崎精道小学校 精道三川台小学校 (長崎県)
関 東 地 区	64	436	令和 4 年 11 月 5 日 (土)	湘南学園小学校 (神奈川県)
全 国 幹 部	67	437	令和 4 年 12 月 1・2 日 (木・金)	ホテル日航奈良 (奈良県)

日本私学教育研究所と共催の初任者等研修会

研 修 会	期 日	場 所
初任者研修地区研修会		
小学校 (東日本地区)	令和 4 年 7 月 25 日～7 月 27 日 (月～水)	アルカディア市ヶ谷 (東京都)
小学校 (西日本地区)	令和 3 年 7 月 27 日～7 月 29 日 (水～金)	大阪ガーデンパレス (大阪府)
初任者研修全国研修会		
小中高校 (東日本)	令和 4 年 月 日・ 日 (・)	()
小中高校 (西日本)	令和 4 年 月 日・ 日 (・)	()
中堅教員 (10 年経験者等) 研修会		
小中高校 (東日本)	令和 4 年 月 日・ 日 (・)	()
小中高校 (西日本)	令和 4 年 月 日・ 日 (・)	()

東日本地区は (東京地区と北海道・東北地区と関東地区)、西日本地区は (西日本地区と九州地区) を含む。

2020年代の教育宣言

2020年代、私たちは多くの節目を迎えます。学制施行から150年。「大正新教育・八大教育主張講演会」から100年。私立学校振興助成法公布から50年。殊に1941年、国民学校令に合わせた私立小学校廃止の動きから「初等学校」の灯を守り、日本私立小学校連合会が産声をあげて80年となります。これらの節目において常に私立小学校は存在感を示してきました。この歴史に誇りをいただき「一年樹穀、十年樹木、百年樹人」と言った古人にならい、私たちは新たな百年に向けて人を育てる営みを続けます。

2020年代は、人工知能(AI)の想像もつかない発達等によって劇的な社会変革を迎えると言われます。しかし、この潮流の中だからこそ、より人間らしく生きることを疎かにしない心と学力を育てる教育が私立小学校に求められています。

そのために、私たちは、

- 一、それぞれの建学の精神に則り多様な特長をもつ学校群として、伝統を重んじつつ、自由と人権、児童一人一人の個性を尊びます。
- 一、児童愛をかたときも離さず、児童の内なる可能性を引き出す方法を実践・探求します。
- 一、未来を切り拓く資質と心豊かな人間性を育成します。
- 一、真の世界平和と持続可能な環境の維持をめざして、広い視野をもって考え、共感する心や他者尊重の心を育みます。

私たちは、新たな時代に向けて私学人としての自覚を持ち、お互いに磨き合い、我が国初等教育の新たな創造をめざすことをここに宣言します。

2020(令和2)年6月12日

日本私立小学校連合会